

『新刻天下四民便覧三台万用正宗』卷八（下層）律例門

未収録条文訳注稿

（改訂版 Ver.1）

2018 年 3 月

公益財団法人 東洋文庫 研究員

大澤 正昭

『三台萬用正宗』卷八（下層）律例門未収録条文訳注稿

凡例

- 本稿は『三台萬用正宗』卷八律例門（下層）所収『鳴情均化録』の項に収録されなかった条文の訳注であり、改訂版 Ver.1 とする。

改訂版とした理由は以下の通りである。二〇一七年三月に公表した試行本 Ver.2 では大きな見落としがあった。具体的には、上記『鳴情均化録』の続き、すなわち繳段・結段とみられる記事をその後に《発見》したことである。それはまさに『三台萬用』卷八の上層に収録されていた。これまでその存在に気付かなかったわけであるが、その理由は、上層の最初の標題が「招擬指南」、次が「串招活套語類」であり、その他の標題は付けられていなかったことである。これらの前半については研究会においても読解を進めていたが、中断していた部分であった。また、発見した部分の記述はこれら二項の記述とまったく同一の体裁のもと、淡々となされていた。このため、上層には「招擬指南」をはじめとする供述調書作成の手引きが連続しているものとばかり考え、詳細な検討は後回しにしていた。しかしとある契機で「招擬指南」記事の後半部を読んでみたところ、これが実は『鳴情均化録』の繳段と結段に該当する記事であることが判明した。まさに「青天の霹靂」であり、「灯台下暗し」を地で行くものであった。本稿では、不明を恥じつつ、ここに当該記事の訳注稿を改訂版として公表することとした。

- 章立ては『三台萬用』を基準とし、「土豪」以下の項目ごとに【6】前段、【7】後段を列記する。それ以後の上層収録の記事は【8】繳段、【9】結段とする。
- 各項目には、『三台萬用』以外の日用類書から『三台萬用』未収録の条文および『三台萬用』上層収録分を収集し、整理して掲載する。基本的に『三台萬用』を底本とするが、文字・表現が異なっている場合は、もっとも適当な字句を選択して【復元】とする。なお字句を選択する際の基準は以下の通りである。①発行年の古いものを優先するが、徐三友の校が付せられている『五車拔錦』はより優先的に扱う。②内容では、句の形が自然で、文意が通りやすいものを選択する。③条文には順にアルファベットを付す。基本的に同内容であるが表現が異なる条文のアルファベットには（'）を付ける。
- 各条文には前掲訳注稿同様、【原文】【語彙解】【現代語訳】《訳註》を付ける。【原文】の日本語IMEで表示できない文字は[]で漢字の成分を示す。
- 【語彙解】で用いた工具書類の略称およびその原名などは以下の通りである。

『国字解』：荻生徂徠『明律国字解』（内田智雄・日原利国校訂、創文社、一九六六年）

『東川』：東川徳治『中国法制辞典』（燎原、一九七九年復刻版）

『用語解』：斯波義信編『社会経済史用語解』（東洋文庫、二〇一二年）

『六部』：『六部成語註解』（内藤乾吉、一九四〇年）

『漢詞』：『漢語大詞典』（漢語大詞典出版社、一九八六年）

『中日』：『中日大辞典』（電子辞書版、愛知大学）

『諸橋』：諸橋轍次『大漢和辞典』（大修館書店、縮写版一九六八年）

『石山』：石山福治『中国（旧支那）語大辞典』（国書刊行会、一九七四年復刻版）

『雅俗』：『雅俗漢語訳解』（佐伯富編、同朋舎、一九七六年）

『福恵』：『福恵全書語彙解』（佐伯富編、同朋舎、一九七五年）

『近代』：『近代漢語大詞典』（許少峰編、中華書局、二〇〇八年）

『中法』：『中国法制史大辞典』（蒲堅編著、北京大学出版社、二〇一六年）

○ 関連史料の略称および巻頭に掲げられた書名などは以下の通りである。

『萬書萃寶』：『新録天下備覧文林類記萬書萃寶』（不著撰人、万曆二四年刊本）卷之十九・下層「珥筆文峰」

『五車拔錦』：『新鐫全補天下四民利用便観五車拔錦』（不著撰人、徐三友校、万曆二五年刊本）二四卷・下層「珥筆文鋒」

『学海群玉』：『新刊翰苑広記補訂四民捷用学海群玉』（不著撰人、万曆三五年序潭陽熊氏種徳堂刊本）卷九・下層「珥筆規模」

『萬書淵海』：『新刻全補士民備覧使用文林彙錦萬書淵海』（徐企龍編、万曆三八年積善堂楊欽斎刊本）十七卷・下層「珥筆文峰」

『妙錦萬宝全書』：『新板全補天下便用文林妙錦万宝全書』（万曆四〇年劉氏安正堂刊本）卷之十七・下層「珥筆文峰」

『五車萬宝全書』：『新刻搜羅五車合併萬宝全書』（徐企龍編、万曆四二年閩建書林樹徳堂刊本）卷之十六・下層「珥筆文峰」

『萬書萃錦』：『新刻四民便覧萬書萃錦』（万歴年間進賢堂我繡刊本）卷之六・下層「珥筆文峰」

『全書備考』：『新刻人瑞堂訂補全書備考』（鄭尚玄訂、崇禎十四年序刊本）卷之十八・下層「状法門」

『積玉全書』：『鼎鐫李先生增補四民使用積玉全書』（崇禎年間、李光裕較訂、潭邑書房劉興我繡刊本）卷之十六・下層「法家心訣」内「体段貫串活奪」以下

○ 本稿はさきの『三台萬用』巻八（下層）訳注稿同様、試みの作業であり、現段階までの到達点である。内容にはまだまだ多くの誤りがあることを恐れている。これをたたき台として、今後さらに改訂作業を続けてゆく所存である。読者諸賢の忌憚のないご批判をいただきたく、心からお願いしたい。

二〇一八年三月 大澤正昭 記す

【6】前段

【原文】

【6-1】土豪

*『萬書萃寶』土豪類

- a 某恃勢焰薰天，錢神通聖，藐法律若弁髦，視生靈如螻蟻，
- b 某倭寇同流，[疒+毒]痛一方，招聚惡黨，畜為瓜牙，
- c 某蜂蠆心腸，虎狼威勢，奸計百生，害眾成家，
- d 某交結無籍棍徒，黨害鄉民，
- e 某素倚官行霸，害民無厭，藐法強抗，益肆跋扈，
- f 蓋造違禁房屋，異勝皇宮，樓廳大廈，高聳青天，水閣涼亭，葫蘆高頂，葵花石磔，漆柱洒金，
- g 占人田產，勢類土王，淫人婦女，止如宿娼，

*『學海群玉』土豪類

- f 其做造違禁房屋，異勝皇宮，殿閣列若阿房宮，廳大廈高聳青天，水閣涼亭，葫蘆高頂，楸柁枺料螺拱
繁華象鼻柁梁獅盤走獸彩錦雕鳳葵花石磔漆柱洒金，

*『萬書淵海』土豪類

- a 某恃勢焰薰天，錢神通聖，藐法律若弁髦，視生靈如螻蟻，
- b 某倭寇同流，[疒+毒]痛一方，招聚惡黨，畜為瓜牙，
- c 某蜂蠆心腸，虎狼威勢，奸計百生，害眾成家，
- d 某交結無籍棍徒，黨害鄉民，
- e 某素倚官行霸，害民無厭，藐法強抗，益肆跋扈，
- f 蓋造違禁房屋，異勝皇宮，樓廳大廈，高聳青天，水閣涼亭，葫蘆高頂，葵花石磔，漆柱洒金，

g 占人田產，勢類土王，淫人婦女，止如宿娼，

*『五車萬寶全書』土豪類

a 某恃勢焰薰天，錢神通聖，貌法律若弁髦，視生靈如蝼蟻，

b 某倭寇同流，[疒+毒]痛一方，招聚惡黨，畜為爪牙，

c 蜂蠆心腸，虎狼威勢，奸計百生，害眾成家，

d 某交結無籍棍徒，党害鄉民，

e 某素倚官行霸，虐民无厭，貌法強抗，益肆跋扈，

f 蓋造違禁房屋，異勝皇宮，樓廳大廈，高聳青天，水閣涼亭，葫蘆高頂，葵花石礫，漆柱洒金，

g 占人田產，勢類土王，淫人婦女，正如宿娼，

*『萬書萃錦』『積玉全書』土豪類

a 某恃勢焰薰天，錢神通聖，貌法律若弁髦，視生靈如蝼蟻，

b 某倭寇同流，[疒+毒]痛一方，招聚惡黨，畜為爪牙，

c 蜂蠆心腸，虎狼威勢，奸計百生，害眾成家，

d 某交結無籍棍徒，党害鄉民，

e 某素倚官行霸，虐民无厭，貌法強抗，益肆跋扈，

f 蓋造違禁房屋，異勝皇宮，樓廳大廈，高聳青天，水閣涼亭，葫蘆高頂，葵花石礫，漆柱洒金，

g 占人田產，勢類土王，淫人婦女，止如宿娼，

*『全書備考』土豪類

a 某恃勢焰薰天，錢神通聖，貌法弁髦，視生靈如蝼蟻，

b 某倭寇同流，[广+毒]痛一方，招聚黨惡，畜為牙爪，

c 蜂蠆心腸，虎狼威勢，奸計百生，害眾成家，

d 某結交光籍棍徒，黨害鄉民，

【復元】

a 某勢焰薰天，錢神^①通聖^②，藐法律若辮髮，視生靈如螻蟻，

b 某倭寇同流，[广+毒]痛一方，招聚黨惡，畜為爪牙，

c 某蜂蠆心腸，虎狼威勢，奸計百生，害眾成家，

d 某交結無籍棍徒，黨害鄉民，

e 某素倚官行霸，害民無厭，藐法強抗，益肆跋扈，

f 做造違禁房屋，異勝皇宮，殿閣列若阿房宮，廳大廈高聳青天，水閣涼亭，葫蘆高頂，枰

③柁枅料，螺拱^④繁華，象鼻柁梁，獅盤走獸^⑤，彩錦雕鳳，葵花石礫^⑥，漆柱洒金，

g 占人田產，勢類土王，淫人婦女，止如宿娼，

【語彙解】

①「錢神」：『漢詞』「謂金錢之力、如同神物」。『石山』「錢財（ゼニ）ノカハ神ノカト同一ナルニ喩フ。又福ノ神」。

②「通聖」：『漢詞』「通達聖明」

③「枰」：『中日』「(家屋の) 梁」

④「螺拱」：未詳。参考)「螺鍋」：『中日』「アーチ形」。「拱」：『中日』「建造物の弧形をなした部分、アーチ形のもの」

⑤「走獸」：『中日』「蹲獸と同じ。軒丸瓦の一種」

⑥「石礫」：『中日』「柱下石」

【現代語訳】

- a 某の威勢は天を焦がすほどで、錢を崇拜すること聖人に対するごとくである。法律を辯髪のごとくないがしろにし、民草を虫けらのごとくみなしている。
- b 某は倭寇の同流であり、この地域を疲弊させている。悪党を呼び集め、手先として養っている。
- c 某は毒虫のような性格で、虎狼のような威勢を誇っている。あらゆる悪だくみを仕掛け、民衆に損害を与えることで一家を構えている。
- d 某は無宿の棍徒と結びつき、徒党を組んで郷里の民を傷めつけている。
- e 某はもともと官の権威に寄り掛かって暴力的支配をおこない、際限なく民衆を傷めつけている。法律をないがしろにし、強いてお上に抗い、ますますやりたい放題である。
- f 某は禁令を犯した建物を作り、皇宮と見まがうばかりである。建物は阿房宮のごとく立ち並び、大閣・高楼は青天にそびえ立っている。水辺の納涼亭は、屋根のてっぺんにはふくべの飾り。各種の梁・ますがたは、色鮮やかなアーチ形。象の鼻のような梁、獅子の盤形で走獣の軒瓦。彩の錦には鳳凰の紋様、葵の花を刻んだ土台石。漆塗りの柱には金箔を吹きつけている。
- g 人の田産を占拠し、その威勢は「土王」（在地の王）の如くである。人の婦女を姦淫しているが、ただ女郎買いをしているかのごとくである。

【原文】

【6-2】毆鬪

*『萬書萃寶』『積玉全書』 鬪毆類

- a 人倫以服為重，尊卑以長為先，
- b 姪犯親叔，壞亂綱常，
- c 五服親伯，庸遭毆辱，綱常墜地，情慘昏天，
- d 毒手捶毆，污口穢罵，
- e 人倫大變，法律無存，

*『萬書淵海』 鬪毆類

- a 人倫以服為重，尊卑以長為先，
- b 姪犯親叔，壞亂綱常，

c 五服親伯，庸遭毆辱，綱常墜地，情慘昏天，

d 毒手捶毆，污口穢罵，

e 人倫大變，法律何存，

*『萬書萃錦』關毆類

a 人倫以服為重，尊卑以長為先，

b 姪犯親叔，壞亂綱常，

c 五服親伯，庸遭毆辱，綱常墜地，情慘昏天，

d 毒手捶毆，污口穢罵，

e 人倫大變，法律何存，

*『全書備考』關毆類

a 人倫以服為重，尊卑以長為先，

b 姪犯親叔，壞亂綱常，

d 毒手捶毆，惡口穢罵，

e 人倫大變，法律無存，...（※この後三台萬用の一条目と同文）

【復元】

a 人倫以服為重，尊卑以長為先，

b 姪犯親叔，壞亂綱常，

c 五服親伯，庸遭毆辱，綱常墜地，情慘昏天，

d 毒手捶毆，污口穢罵，

e 人倫大變，法律何存，

【現代語訳】

- a 人の倫理では服喪関係を重んじ、尊卑の関係では尊長を優先する。
- b 甥が父方の叔父に無礼を働くことは、三綱五常の道徳を破壊するものである。
- c 五服の関係にある伯父が殴打されるという辱めを受けた。道徳は地に堕ち、その惨状は真っ暗闇のようなものだ。
- d 残酷に殴りつけ、口汚くののしった。
- e 人の倫理の一大事で、いったい法律はどこにあるのか。

【原文】

【6-3】婚姻

*『萬書萃寶』婚姻類

- a 男女婚配，萬古綱常，一旦拆離，法律安在，
- b 以財礼作虚文，視婚書為故紙，悔盟另嫁，國法大變，

*『萬書淵海』『萬書萃錦』『積玉全書』婚姻類

- a 男女婚配，萬古綱常，一旦拆離，法律安在，
- b 以財禮作虚文，視婚書為故紙，悔盟另嫁，國法大變

*『全書備考』婚姻類

- a 男女婚配，萬古綱常，一旦拆離，法律安在，
- b 以財禮為虚文，視聘書作故紙，悔盟另嫁，國法大變，

【復元】

- a 男女婚配，萬古綱常，一旦拆離，法律安在，
- b 以財禮^①作虚文，視婚書^②為故紙，悔盟另嫁^③，國法大變，

【語彙解】

①「財禮」：『漢詞』「娶婦的聘金」。『中日』「＝彩礼。旧時、結納の金品」

②「婚書」：『石山』「婚姻ノ約定ヲ定メ認メタル書付。縁組約束書」。『東川』「男女両家ガ媒酌人ニ由リテ婚約ヲ締結シタルトキハ契約証書ヲ授受ス。之ヲ「婚書」ト謂フ。婚書ヲ授受シタルトキハ婚約成

立シ、男女両家相反悔スルコトヲ得ズ。」

③「悔盟另嫁」：『東川』「男女婚姻ノ約ヲ結ビタル後、女家ガ其約ヲ悔キテ私ニ他ト婚姻ヲ約スルコトヲ謂フ。」

【現代語訳】

- a 男女の婚姻は古来不変の道德によるものである。もし離婚ということになるなら、法律はどこにあるというのだ。
- b 結納をうわべだけの儀礼と見なし、婚約書を反故とした。新婦の家が婚約を後悔し嫁ぎ先を変えるようなことをしては、国法の一大事である。

【原文】

【6-4】姦情

*『萬書萃寶』姦情類

- a 一夫一婦，豈容奸占，
- b 強姦婦女，壞法違條，
- c 同宗五服，切遭奸汚何甘，人倫風化①，律法豈容紊乱，
- d 欺奸叔孀，倫風墮地，罪惡滔天，

*『萬書淵海』姦情類

- a 一夫一婦，豈容奸占，
- b 強姦婦女，壞法違條，
- c 同宗五服，切遭奸汚何甘，人倫風化，律法豈容紊亂，
- d 欺奸叔孀，倫風墮地，罪惡滔天，

*『萬書萃錦』『積玉全書』姦情類

- a 一夫一婦，豈容奸占，
- b 強姦婦女，壞法違條，
- c 同宗五服，切痛奸汚何甘，人倫風化，律法豈容紊乱，

d 欺奸叔孀，倫風墮地，罪惡滔天，

＊『全書備考』姦情類

a 一夫一婦，豈容奸占，

b 強姦婦女，壞法違條，

c 同宗五服，切遭姦污何甘，人倫風化，律法豈容紊亂，

d 欺姦叔孀，倫風墮地，罪惡滔天，

e 幼女未笄，肆強宿姦，被污良緣，玷辱終身，有傷親族，

f 同宗無服，豈容姦亂人倫，

g 僧道犯姦，理實不容紊亂，

【復元】（『全書備考』の e, f, g は【7-4】の混入と思われるのでここでは省略する。）

a 一夫一婦，豈容奸占①，

b 強姦婦女，壞法違條，

c 同宗五服，切遭奸污何甘，人倫風化②，律法豈容紊亂，

d 欺奸叔孀，倫風墮地，罪惡滔天，

【語彙解】

①「奸占」：『中法』「依仗權勢霸占、強奪他人之妻女而奸淫之、叫奸占」。『近代』「非法霸占人妻女」。

②「風化」：『石山』「風教、教化、感化ヲイフ」。

【現代語訳】

- a 一夫一婦の関係においては、威勢をかさに着て人の妻女を強引に姦淫するのは許されるはずがない。
- b 婦女を強姦するのは法律を破壊することである。
- c 同宗で五服の関係にある人が姦淫されたのは見過ごせない。人倫の教化については、法律が道德の紊亂を許すことはないのだ。

- d 叔父の妻をだまして姦淫するとは、人倫が地に堕ちたも同然で、天にみなぎるほどの罪悪である。

【原文】

【6-5】戸口

＊『萬書萃寶』戸口類

- a 隱有為無，弊多作寡，
b 江南業土，以稅為憑，天下文書，惟冊是主，
c 切緣律法，繼必擇親，々必擇長，
d 鬼以失傳而莫亨，業以無主而漸覆，
e 造謀攙紊，群妬■（才+文見）害，
f 惟競饕噬，且不顧繼絕，

＊『萬書淵海』『萬書萃錦』『積玉全書』戸口類

- a 隱有為無，弊多作寡，
b 江南業土，以稅為憑，天下文書，惟冊是主，
c 切緣律法，繼必擇親，親必擇長，
d 鬼以失傳而莫亨，業以無主而漸覆，
e 造謀攙紊，群妬攪害，
f 惟競饕噬，且不顧繼絕，

＊『五車萬宝全書』戸口類

- a 隱有為無，弊多作寡，
b 江南業土，以稅為憑，天下文書，惟冊是主，

- c 切縁律法，繼必擇親，々必擇長，
- d 子以失傳兒莫亨，業以无主而漸覆，
- e 造謀讒紊，群妬擾害，
- f 惟競饕噬，不顧繼絶，

【復元】

- a 隱有為無，弊多作寡，
- b 江南業土，以稅為憑，天下文書，惟冊是主，
- c 切縁律法①，繼必擇親，親必擇長，
- d 鬼以失傳而莫亨，業以無主而漸覆②，
- e 造謀攙紊，群妬擾害，
- f 惟競饕噬，且不顧繼絶，

【語彙解】

① 「律法」：この文に関連する法は『大明律』戸律一「立嫡子違法」である。

② 「覆」：『近代』「㊦滅、亡」

【現代語訳】

- a 有る物を隠して、ないと言ひ、家族が多いのをわざわざいとして（？）少ないとする。
- b 江南の土地は税を（納めていることを）拠り所とし、天下の文書はただ黄冊（？）のみを主体とする。
- c 法律に基づいてみるに、家の継承者は必ず親族から選び、親族では必ず年長者を選ぶべきである。
- d 祖霊は家の継承が絶えると祀られなくなり、土地は所有者がいなくなると次第に所有権が失われる。
- e でっち上げ（造）・謀略（謀）・讒言（讒）・紊乱（紊）は、みな人々の嫉妬が引き起こす。
- f ただ化け物のように食らうことを競うのみで、しかも継承者が絶えるのを顧みることはない。

【原文】

【6-6】錢債田產

* 『萬書萃寶』『萬書萃錦』『積玉全書』錢債田土類

- a 某惡罪貫盈，富食貧肉，私債磊騙，違禁取利，竹節重算，
- b 利中生利，一滾作十，年上加年，十轉成百，
- c 展轉換約，忍屈難言，違禁滾利，子過於母，逼房償屋，坑身露宿，
- d 肉在机上，任加裁割，
- e 欺死瞞生，匿約磊騙，
- f 貪財有限^①，慾壓（『萃錦』『積玉』作壑）難填，
- g 未死之先，身已買明，既故之後，身即清業，
- h 業經^②年遠，稅過三度，明欺小民，砌招枉奪，藉錢賄書，箴判復占，
- i 百年故物，一旦混爭，
- j 管業五年以上（『積玉』作下），毋許案爭，契經四十餘年，豈應詐白，

江南業土，以稅為憑，天下文書，惟冊是主，（【6-5】と重複）

- k 錢糧國脈，水利民命，
- l 占竭^③潭以作碓，惟知專利，壞溝洫而營私，不順人情，
- m 截生民（『積玉』作人）之命脈，壞黎庶之膏脂，
- n 水利便民，青（『積玉』作清）苗田賦為重，一人霸塞，禍及萬家，

【語彙解】

①「有限」：『中日』「いくばくもない、少ない、知れたものである」

②「業經」：『中日』「すでに……した。」

③「竭」：『諸橋』「みせき」

【現代語訳】

- a 某の罪悪はきわめて多い。富民が貧民の肉を食らうごとく、騙して借金を積み上げさせ、禁令を越える利子を取り、(金額は)竹の節のごとく積み重ねられた。
- b 利子が利子を生み、転がって十倍になった。年を重ねるうちに十のものが百になった。
- c 次々と契約を変えられ、(被害者は)言いあわせないほど耐え忍んでいる。禁令を越える利子を転がし、元金を越えている。家屋をかたとして取りあげ、野宿暮らしを余儀なくさせた。
- d 肉は机の上にあり、ほしいままに切り分けている。
- e 死者を欺き生者に隠し、契約を秘匿しひどいだましようである。
- f 財をむさぼるのは知れたものであるが、欲望の谷間は埋め難い。
- g 死ぬ前に身体はすでに売られており(?)、死んだ後は土地・財産を身ぐるみはがれてすっからかん。
- h 長い年月が経っているのに税を納めたのは三度ばかり。明らかに小民をだまし、繰り返し強奪している。賄賂によって書類を手に入れ(?)、判決をないがしろにしてまた(土地を)占拠している。
- i 長年継承してきたものでも、ある時(所有権)争いに巻き込まれる。
- j 五年以上にわたって所有している土地を紛争に巻き込んではいけない。四十年以上前の契約だからといって胡麻化してはならない。
- k 錢糧は国家の命脈、水利は民の生命。
- l 井堰や渚を占拠して粉挽き用の水車を作るのは利益を一人占めしたいだけである。水路を破壊して私利を営むのは人情に背くものである。
- m 人民の命脈を断ち切り、庶民の膏血を無駄にしている。
- n 水利は民に役立ち、作物栽培や田賦の納入のために重要である。一人の人間が勝手にこれを塞げば被害は万家に及ぶ。

【原文】

【6-7】財本

＊『萬書萃寶』財本類

- a 老幼命係斯貨，拐騙①何甘，
- b 車穀灌鉛②，奸心同賊，沿街行使，設計騙人，
- c 拐騙財本，坑誣全家，
- d 銷造行使，鄉里倣倣成風，

＊『萬書淵海』『萬書萃錦』『積玉全書』財本類

- a 老幼命係斯貨，拐騙何甘，
- b 車殼灌鉛，奸心同賊，沿街行使，設計騙人，
- c 拐騙財本，坑陷全家，
- d 銷造行使，鄉里倣倣成風，

＊『五車萬寶全書』財本類

- a 老幼命係斯貨，拐騙何甘，
- b 車服灌鉛，奸心同賊，沿街行使，設計騙人，
- c 拐騙財本，坑陷全家，
- d 銷造行使，鄉里倣倣成風，

＊『全書備考』財本類

- a 老幼命係斯貨，拐騙何堪，
- c 拐騙財本，坑陷全家，

【復元】

- a 老幼命係斯貨，拐騙^①何甘，
- b 車殼灌鉛^②，奸心同賊，沿街行使，設計騙人，
- c 拐騙財本，坑陷^③全家，
- d 銷造行使，鄉里倣倣成風，

【語彙解】

- ① 「拐騙」：『近代』「騙取人或財物」。『中法』「用欺騙手段弄走人或財物」。『中日』「…だまし取る、持ち逃げする」
- ② 「車殼灌鉛」：未詳。【6・7】に既出。
- ③ 「坑陷」：『近代』「害、陷害」。『水滸詞典』「陷害、坑害」。

【現代語訳】

- a 老人・子供の生命はこの商品にかかっている。騙し取られているわけにはゆかないのだ。
- b 「車殻」や「灌鉛」といった贋金造りは悪党一味の仕業である。街なかで使い、計略を巡らして人をだましている。
- c 資本をだまし取り、一家を陥れる。
- d 贋金を使い、郷村はそれに倣うのが普通の風俗となる。

【原文】

【6-8】人命

＊『萬書萃寶』『萬書淵海』『萬書萃錦』『積玉全書』人命類

- a 鉄尺木棍，無情斬打，男命含冤，登時不見天日，
- b 閻王主人，金剛奴僕，登時活々打死，冤蔽黑天，
- c 人命重情，法應抵死，錢神朦蔽，致枉典刑，
- d 某貧緣鄉宦，廣賄吏書，重賂（『萃寶』『積玉』作賄）排年，一風弊結，妄捏傷痕，屈身死罪，負冤節告，蒙案批駁，卷案可查，
- e 理不勝情，貧難富敵，竟被囑托，蔽冤（『淵海』『積玉』作究）不行，

＊『全書備考』人命類

- a 鉄尺木棍，無情斬打，男命含冤，登時不見天日，
- c 人命重情，法應抵死，錢神朦蔽，致枉典刑，
- d 某貧緣鄉宦，庶賄吏書，重賄排年，一風弊結，妄捏相冤，屈身死罪，負色節告，蒙案批駁，譽案可查，

【復元】

- a 鉄尺①木棍，無情斬打，男命含冤，登時不見天日，
- b 閻王主人，金剛奴僕，登時活々②打死，冤蔽黑天，
- c 人命重情，法應抵死，錢神朦蔽，致枉典刑，

d 某貧緣鄉宦，廣賄吏書，重賂排年③，一風弊結，妄捏傷痕，屈身死罪，負冤節告，蒙案

批駁④，卷案可查，

e 理不勝情，貧難富敵，竟被囑托，蔽冤不行，

【語彙解】

①「鉄尺」：『近代』「一種兵器。比常尺厚而且長」。『中日』「ものさし形の鉄製の武器」。『福恵全書語彙解』「じつてい」。

②「活活」：『中日』「生きながら，無惨にも、みすみす」

③「排年」：『用語解』75 r 「明代、里甲制下、現在非番の里長・甲首戸をいう。...」。『国字解』675 「...一里に里正一人あり、里正の下に里甲十人あり、...此十人の里甲を、排年里甲とも云て、...」。『東川』「現年ト同義。即チ保甲制ノ十甲ヲ一組トシ其税銀収集ノ役ニ輪充シタル者ヲ謂フ」。『石山』「輪番ニ交代シテ当リタル年番ノコトヲ曰フ」。『福恵』「ねんばん。十甲輪充、値年当差者、謂之〜。又謂現年。」

④「批駁」：『中日』「申請・請願を却下する」。『石山』「駁スル、拒ムノ意。許可又ハ許可申請ニ対シ其理由ヲ附シテ却下スル」。

【現代語訳】

a 鉄尺や棍棒で無情にも打ちすえ、男は恨みを吞んでたちまち昏倒した。

b 閻魔王が主人で、金剛夜叉が奴僕のようなもの。たちまち無惨にも打ち殺してしまった。恨みは天を覆い真っ暗である。

c 殺人事案は重くみるべきで、法律では死刑である。(それなのに)金の力にものを言わせ、担当役人に量刑を枉げさせた。

d 某は郷紳に取り入り、胥吏・衙役に賄賂を行き渡らせた。当番の里甲には手厚く賄賂を贈り、(疑惑を?)吹き消してしまった。傷痕をでっち上げ、いわれのない圧迫を加えて死罪とした。恨みを抱いた者が次々告発するが、事件をうやむやにし、(告発を)却下した。(それは)書類を調査すればわかることである。

e 天理は人情にかなわず、貧民は富民に対抗できない。結局、頼みこまれたために恨みを吞んで行動できなかった。

【原文】

【6-9】賊情 【7-9】の混入か

*『萬書萃寶』賊情類

a 鳴鑼吶喊，破壁衝門，蜂擁來家，財物罄捲，

b 姦汚婦女，被辱風聲，

c 燒燬房屋，搶擄家財，

- d 殺人放火，王法大變，
- e 群兇烏合，劫殺百姓，流毒四隣，哀徹心髓，
- f 素行不法，偷豬毒犬，輟拐人財，

*『全書備考』賊情類

- a 鳴鑼吶喊，破壁冲門，蜂擁來家，財物罄捲，
- b 污姦婦女，被辱風聲，
- d 殺人放火，王法大變，
- f 素行不法，偷豬毒犬，輟拐人財，

*『萬書萃錦』『積玉全書』賊情類

- a 鳴鑼吶喊，破壁衝（『積玉』作冲）門，蜂擁來家，財物罄捲，
- b 姦污婦女，被辱風聲，
- c 燒燬房屋，搶擄家財，
- d 殺人放火，王法大變，
- e 群兇烏合，劫殺百姓，流毒四隣，哀徹心髓，

【復元】

- a 鳴鑼吶喊，破壁衝門，蜂擁來家，財物罄捲，
- b 姦污婦女，被辱風聲，
- c 燒燬房屋，搶擄家財，
- d 殺人放火，王法大變，
- e 群兇烏合，劫殺百姓，流毒四隣，哀徹心髓，

f 素行不法，偷猪毒犬，輟拐人財，

【現代語訳】

- a ドラを鳴らしてときの声をあげ、壁を破り、門を突き破った。大勢で家に押し寄せ、財物はすべて巻きあげていった。
- b 婦女を姦淫し、評判が汚された。
- c 家屋を焼き、家財を強奪した。
- d 殺人や放火は王法の一大事である。
- e 悪党どもが群れ集まり、民を脅したり殺したりし、毒を近所に撒き散らすなど、悲しみは心の髄にまで至っている。
- f ふだんから不法行為をはたらき、豚を盗み犬を毒殺し、人や財物をだまし取った。

【6-10】吏書皂快

【6-11】告官（『妙錦萬宝全書』にはない）

【6-12】郷宦（『妙錦萬宝全書』は「官員郷宦」とする）

【6-13】地方積年

いずれも『五車拔錦』『妙錦萬宝全書』に同記事があり、すでに検討した。

【7】後段

【7-1】土豪 すべて『三台萬用』と同文。

【原文】

【7-2】鬪毆

*『萬書萃寶』『萬書萃錦』鬪毆類

- a 鐵石寸打，命在須臾，
- b 打傷墮胎，身胎二命，兇惡踢傷，死在須臾，
- c 強梁肆惡，踢傷小腹，胎痛難安，妻命懸絲，
- d 強惡行兇，非法打傷胎命，子母屈苦，
- e 肆兇逞勇踢打，妻危胎死，墮落存証，
- f 毆罵期親，人倫以宗服為重，尊卑以長者為先，恃尊凌卑，是以之過，卑幼犯上，理合責懲，

*『萬書淵海』鬪毆類

- a 鐵石寸打，命在須臾，
- b 打傷墮胎，身胎二命，兇惡踢傷，死在須臾，
- c 強梁肆惡，踢傷小腹，胎痛難安，妻命懸絲，
- d 強惡行兇，非法打傷胎命，子母屈苦，
- e 肆兇逞勇踢打，妻危胎死，墮落存証，
- f 毆罵期親，人倫以宗服為重，尊卑以長者為先，恃尊凌卑，是以之過，卑幼犯上，理合責懲，

*『學海群玉』關毆類

- d 強惡行兇，非法打傷胎命，妻叫皇天痛哭，幾於危命，一胎一命，妻命將在危中，被陷子母屈苦可
 怜，打傷妻腹，胎落存証，非法行兇，妻危胎死，
- f 毆罵期親，人倫以宗服為重，尊卑以長者為先，恃尊凌卑，是以之過，卑幼犯上，理合當言，

*『全書備考』關毆類

- c 強良肆惡，踢傷小腹，胎痛難安，妻命懸絲，

*『積玉全書』關毆類

- a 鐵石寸打，命在須臾，
- b 打傷墮胎，身胎二命，兇惡踢傷，死在須臾，
- c 強梁肆惡，踢傷小腹，胎痛難安，妻命懸絲，
- d 強惡行兇，非法打傷胎命，子母屈苦，
- e 肆兇逞勇踢打，妻危胎死，墮落存証，
- f 毆罵期親，人倫以宗服為重，尊卑以長幼為先，恃尊凌卑，是誰之過，卑幼犯上，理合責懲，

【復元】

- a 鐵石寸打，命在須臾，
- b 打傷墮胎^①，身胎二命，兇惡踢傷，死在須臾，
- c 強梁^②肆惡，踢傷小腹^③，胎痛難安，妻命懸絲，
- d 強惡行兇，非法打傷胎命，子母屈苦，
- e 肆兇逞勇踢打，妻危胎死，墮落存證，
- f 毆罵期親^④，人倫以宗服為重，尊卑以長者為先，恃尊凌卑，是誰之過，卑幼犯上，理合責懲，

【語彙解】

- ① 「打傷墮胎」：『大明律』刑律三「鬪毆」の律文に「折二指二齒以上、…墮人胎及刃傷人者、杖八十、徒二年」という規定がある。
- ② 「強梁」：『中日』「横暴」。
- ③ 「小腹」：『福恵』「したはら」。
- ④ 「毆罵期親」：『大明律』刑律三に「毆期親尊長」の、刑律四に「妻妾罵夫期親尊長」の規定がある。

「期親」については、『国字解』109「期の喪を服する親類と云ことなり」。

【現代語訳】

- a 武器や石で打ち、生命は風前の灯である。
- b 殴って流産させる 母体と胎児の二つの生命を悪党が蹴りつけ、生命は風前の灯である。
- c 横暴にも悪事をほしいままにし、下腹を蹴った。胎児は痛めつけられ、妻の命の糸はいまにも切れそうである。
- d 悪党が暴行をはたらき、不法な暴行を受けた。胎児と母体は虐待された。
- e 悪事をほしいままにし、豪勇を誇って蹴りつけた。妻は危篤となり胎児は死んだ。彼の墮落のさまは証拠がある。
- f 期親（の尊長）を罵り殴る 人の倫理では宗族の服喪関係が重要であり、尊卑の関係では年長者を優先する。尊長の者が卑幼の者を侮辱することは過失であり、卑幼の者が年長者を侮辱すれば懲罰を与えられるべきである。

【原文】

【7-3】婚姻

＊『萬書萃寶』『萬書淵海』『萬書萃錦』『積玉全書』婚姻類

- a 奸徒強占，為己妻妾，律法安能輕縱，

【現代語訳】

- a 悪党が強引にわがものにして自分の妻妾とした。これを法律が軽々しく許容するわけがない。

【原文】

【7-4】姦情

＊『萬書萃寶』『萬書淵海』姦情類

- a 犯倫違礼，私奸養女，

＊『萬書萃錦』『積玉全書』姦情類

- a 犯倫違理，私姦養女，

【現代語訳】

- a 倫理、礼法に反して、ひそかに養女と姦通している。

【7-5】戸口 すべて『三台萬用』と同文。

【7-6】錢債田土 すべて『三台萬用』と同文。

【原文】

【7-7】財本

＊『萬書萃寶』財本類

- a 餌引至家，財貨捲盡，

- b 盤纏空乏，跼促難歸，婉言求討，及肆強梁，進退兩難，極切狼狽，

- c 牢籠孤客，虎筮本銀，

＊『萬書淵海』財本類

- a 餌引至家，財貨捲盡，

b 盤纏空乏，跼促難歸，婉言求討，及肆強梁，進退兩難，極切狼狽，

c 牢籠孤客，虎噬本銀，

＊『五車萬宝全書』財本類

a 餌引至家，財貨捲盡，

b 盤纏空乏，跼促難歸，婉言求討，及肆強梁，進退兩難，極切狼狽，

c 牢籠孤客，虎噬本銀，

＊『萬書萃錦』『積玉全書』財本類

a 餌引至家，財貨捲盡，

b 盤纏空乏，跼促難歸，婉言求討，反肆強梁，進退兩難，極切狼狽，

c 牢籠孤客，虎噬本銀，

＊『全書備考』財本類

c 牢籠孤客，虎噬本銀，

【復元】

a 餌引至家，財貨捲盡，

b 盤纏^①空乏，跼促難歸，婉言求討，反肆強梁，進退兩難，極切狼狽，

c 牢籠孤客，虎噬本銀，

【語彙解】

①「盤纏」：『国字解』616「路銀なり」。『東川』「旅費ト云フガ如シ」。

【現代語訳】

a エサで釣って家に引きこみ、資財をすべて巻きあげた。

b 路銀が足りなくなり、帰るに帰れなくなった。そこで下手に出て助けを求めたところ(取引相手は)かえって横暴な態度に出た。進退きわまってしまい、うろたえるばかりであった。

c 一人旅の客商を籠絡し、商売の元手をむしり取った。

【7-8】人命 すべて『三台萬用』と同文。

【7-9】賊情 すべて『三台萬用』と同文。

【7-10】吏書皂快 『五車拔錦』『妙錦萬宝全書』は同文。

【7-11】告官 『五車拔錦』官員鄉宦類は同文。

【7-12】鄉宦 『五車拔錦』『妙錦萬宝全書』官員鄉宦類は同文。

【7-13】地方教唆（積年） 『五車拔錦』『妙錦萬宝全書』地方積年は同文。

【8】繳段

『三台萬用』卷八上層十六葉・表2行目から同二三葉・裏4行目まで

【原文】

繳段

切思類 切思 痛思 哭思

この部分は律例門・下層の記述の一部が残存したものと思われる。さきの訳注稿で指摘したように、『三台萬用』が省略し、他の日用類書に引用されている部分に「後段之下，入繳段 切思 痛思 哭思」とあった。これが何らかの理由で残存したか、あるいは後に別人によって補足されたものであろう。

【原文】

【8-1】**富豪** 激變良民，法律固不縱容，无故抄掠，情理果何堪忍，○横強藐法，架賊誣陷良民，聚衆抄家，非法枉民冤罪，○勢豪枉法，強占為妻，敗壞人倫，乖傷風化，○**威力縛人**勢豪奸詐兇威，擅行綁縛，私家非刑拷打，肆無忌憚，情法難容，

*『五車拔錦』**土豪類**

- a **切思**，激變良民，法律固不縱容，無故抄掠，情理果何堪忍，
- b 横強藐法，架賊誣陷良民，聚衆抄家，非法枉民冤罪，
- c 勢豪枉法，強占為妻，敗壞人倫，乖傷風化，
- d **威力縛人**勢豪奸詐兇威，擅行綁縛，私家非刑拷打，肆無忌憚，情法難容，

*『學海群玉』**土豪類**

- a **切思**，激變良民，法律固不縱容，無故抄掠，情理果何堪忍，

- b 橫強藐法，架賊誣陷良民，聚衆抄家，非法枉民冤竄，
- c 勢豪枉法，強占為妻，敗壞人倫，乖傷風化，
- d 威力縛人、勢豪奸詐兇威，擅行綁縛，私家非刑拷打，肆無忌憚，法理難容，

*『萬書萃寶』土豪類

- a 激變良民，法律固不容縱，无故抄掠，情理何堪，
- b 痛思，橫強藐法，架賊誣陷良民，聚衆抄家，非法枉民冤竄，
- c 勢豪枉法，強占為妻，亂法滅倫，乖傷風化，
- d 兇威擅行網綁，私家非刑拷打，肆無忌憚，情法難容，
- e 若豪強兇惡不懲，小民荼毒難忍，

*『萬書淵海』土豪類

- a 激變良民，法律固不容縱，無故抄掠，情理何堪，
- b 痛思，橫強藐法，架賊誣陷良民，聚衆抄家，非法枉民冤誣，
- c 勢豪枉法，強占為妻，亂法滅倫，乖傷風化，
- d 兇威擅行網綁，私家非刑拷打，肆無忌憚，情法難容，
- e 若豪強兇惡不懲，小民荼毒難忍，

*『五車萬寶全書』土豪類

- a 激變良民，法律固不容縱，無故抄掠，情理何堪，
- b 痛思，橫強藐法，架賊誣陷良民，聚衆抄家，非法枉民冤罪，
- c 勢豪枉法，強占為妻，亂法滅倫，乖傷風化，
- d 兇威擅行網綁，私家非刑拷打，肆無忌憚，情法難容，

e 若豪兇惡不懲，小民荼毒難忍，

*『萬書萃錦』土豪類

a 激變良民，法律固不容縱，無故抄掠，情理何堪，

b 痛思，橫強藐法，架賊誣陷良民，聚眾抄家，非法枉民冤阱，

c 勢豪枉法，強占為妻，亂法滅倫，乖傷風化，

d 兇威擅行網綁，私家非刑拷打，肆无忌憚，情法難容，

e 若豪強兇惡不懲，小民荼毒難忍，

*『全書備考』土豪類

c 勢豪枉法，強占為妻，亂法滅倫，乖傷風化，

d 兇威擅行網綁，私家非刑拷打，肆無忌憚，情法難容，

e 若豪凶惡不懲，小民荼毒難忍，

*『積玉全書』土豪類

a 激變良民，法律固不容縱，無故抄掠，情理何堪，

b 痛思，橫強藐法，架賊誣陷良民，聚眾抄家，非法枉民冤阱，

c 勢豪枉法，強占為妻，亂法滅倫，乖傷風化，

d 兇威擅行網綁，私家非刑拷打，肆无忌憚，情法難容，

e 若豪強兇惡不懲，小民荼毒難忍，

【復元】

a 切思，激變良民，法律固不縱容，無故抄掠，情理果何堪忍，

b 痛思，橫強藐法，架賊誣陷良民，聚眾抄家，非法枉民冤狎，

c 勢豪枉法，強占為妻，敗壞人倫，乖傷風化，

d **威力縛人** ①，勢豪奸詐兇威，擅行綁縛，私家非刑拷打②，肆無忌憚，情法難容，

e 若豪強兇惡不懲，小民荼毒難忍，

【語彙解】

① 「威力縛人」：『大明律』刑律三に「威力制縛人」の規定がある。

② 「非刑拷打」：『中日』「不法に拷問する」。『近代』「非刑」：「指使用極其残酷的刑罰」、「拷打」：「抽打、責打」。

【現代語訳】

a ひそかに思うに、良民を煽って騒ぎを起こすことは、法律の許容するところではない。理由もなく財物をかすめ取るとは、人情・天理ともに堪えうところではない。

b 痛切に思うに、横暴にも法をないがしろにし、悪党を唆して良民を陥れている。仲間を集めて家財を没収し、法に反して民を無実の罪に陥れている。

c 悪党が法を枉げ、〈婦女を〉強奪して妻としている。これは人倫にもとり、教化を傷つける行為である。

d **威力によって人を縛らせること** 悪党が偽って兇行をはたらいている。ほしいままに縛り上げ、自分の家できわめて残酷な拷問をおこなった。何のはばかりところもなく、人情・国法ともに許し難い行為である。

e もし有力者の兇悪行為を懲らしめないならば、細民への迫害は堪えがたいものである。

【原文】

【8-2】**鬪毆** 激變良民，私監鎖縛，非法毆民，情理何甘，○義以為上，古訓昭然，力以相角，明戒具在，罔法毆民，律法難縱，○某不事詩書，以爭鬪為奇策，罔循禮儀，以結毆以加謀，○**良賤相毆**賤以事貴，上下莫踰，尊以臨卑，分定不易，強奴毆主，情法何甘，○某名義莫顧，惟血氣之是尚，貴賤倒置，恣膂力而自逞，肆兇毆主，據法何堪，○**欺毆期親**某視期親若秦越，待尊長如寇讎，反臂相稽，操戈入室，紆臂相奪，變弓反射，恃強欺毆，倫理乖傷，○惡姪非人，逞兇悖逆，毆傷服叔，理法何當，○**打傷墮胎**兩命難保週全，天理何在，橫惡倚勢欺毆，律法難容，

*『五車拔錦』鬪毆類

- a 激變良民，私監鎖縛，非法毆民，情理何甘，
- b 義以為上，古訓昭然，力以相角，明戒具在，罔法毆民，律法難縱，
- c 某不事詩書，以爭鬪為奇策，罔循禮儀，以結毆以加謀，
- d 良賤相毆賤以事貴，上下莫踰，尊以臨卑，分定不易，強奴毆主，情法何甘，
- e 某名義莫顧，惟血氣之是尚，貴賤倒置，恣_查力而自逞，肆兇毆主，據法何堪，
- f 欺毆期親某視期親若秦越，待尊長如寇仇，反臂相稽，操戈入室，紆臂相奪，變弓反射，恃強欺毆，
倫理乖傷，
- h 打傷墮胎兩命難保週全，天理何在，橫惡倚勢欺毆，律法難容，

*『萬書萃寶』 鬪毆類 結段（ママ）

- a 激變良民，私監鎖縛，非法毆民，情理何甘，
- b 義以為尚，古訓昭然，力以相角，明戒具在，枉法毆民，律條難縱，
- c 某不事詩書，以爭鬪為奇策，罔循礼義，以詰毆作嘉謀，
- d 良賤相毆賤以事貴，上下莫踰，尊以臨卑，分定不易，強奴毆主，情律曷堪，
- f 欺毆期親某視期親若秦越，待尊長如寇讎，反臂相稽，操戈入室，紆臂相奪，閔弓反射，恃強欺毆，
倫理乖傷，
- h 打傷墮胎兩命難保週全，天理何在，橫惡倚勢欺毆，律法難容，
- i 姪毆親叔，理反何宜，
- j 打傷期親，人倫有失，

*『萬書淵海』 鬪毆類 結段（ママ）

- a 激變良民，私監鎖縛，非法毆民，情理何甘，
- b 義以為尚，古訓昭然，力以相角，明戒具在，枉法毆民，律條難縱，
- c 某不事詩書，以爭鬪為奇策，罔循禮義，以詰毆作嘉謀，
- d 良賤相毆賤以事貴，上下莫踰，尊以臨卑，分定不易，強奴毆主，情律曷堪，
- f 欺毆期親某視期親若秦越，待尊長如寇讎，反臂相稽，操戈入室，紆臂相奪，閔弓反射，恃強欺毆，
倫理乖傷，
- h 打傷墮胎兩命難保週全，天理何在，橫惡倚勢欺毆，律法難容，
- i 姪毆親叔，理反何宜
- j 打傷期親，人倫有失，

*『學海群玉』鬪毆類 結段（ママ）

- a 激變良民，私監鎖縛，非法毆民，情理何甘，
- b 義以為上，古訓昭然，力以相角，明戒具在，罔法欺民，律條難縱，
- c 某不事詩書，以爭鬪為奇貨，罔循禮義，以詰毆以加謀，
- d 良賤相毆賤以事貴，上下莫踰，尊以臨卑，分定不易，強奴毆主，情法何甘，
- e 某名義莫顧，惟血氣之是尚，貴賤倒置，恣膂力而自逞，肆兇毆主，據法何堪，
- f 欺毆期親某視期親若秦越，待尊長如寇讎，反臂相稽，操戈入室，紆臂相奪，變弓反射，恃強欺毆，
倫理乖傷，
- g 惡侄非人，逞兇悖逆，毆傷服叔，理法何當，
- h 打傷墮胎兩命難保週全，天理何在，橫惡倚勢欺毆，律法難容，

i 姪毆親叔，理犯何宜，

j 打傷期親，人倫有失，

k 罵叔難容，有傷風化，

*『萬書萃錦』鬪毆類 結段（ママ）

a 激變良民，私監鎖縛，非法毆民，情理何甘，

b 義以為尚，古訓昭然，力以相角，明戒具在，枉法欺民，律條難縱，

c 某不事詩書，以爭鬪為奇策，罔循礼義，以詰毆作嘉謀，

d 良賤相毆賤以事貴，上下莫踰，尊以臨卑，分定不易，強奴毆主，情律曷堪，

f 欺毆期親某視期親若秦越，待尊長如寇讎，反臂相稽，操戈入室，紆臂相奪，閔弓反射，恃強欺毆，
倫理乖傷，

h 打傷墮胎兩命難保週全，天理何在，橫惡倚勢欺毆，律法難容，

i 姪毆親叔，理犯何宜，

j 打傷期親，人倫有失，

*『全書備考』鬪毆類

d 良賤相毆，賤以事貴，上下莫踰，尊以臨卑，分定不易，強奴毆主，情律何堪，

j 打傷暮親，人倫有失，

*『積玉全書』鬪毆類 結段（ママ）

a 激變良民，私監鎖縛，非法毆民，情理何堪，

b 義以為尚，古訓昭然，力以相角，明戒具在，枉法欺民，律條難縱，

- c 某不事詩書，以爭鬪為奇策，罔循禮義，以詬毆作嘉謀，
- d 良賤相毆賤以事貴，上下莫踰，尊以臨卑，分定不易，強奴毆主，情律何堪，
- f 欺毆期親某視期親若秦越，待尊長如寇仇，反唇相稽，操戈入室，倫理乖傷，
- h 打傷墮胎兩命難保週全，天理何在，橫惡倚勢欺毆，律法難容，
- i 姪毆親叔，理犯何宜，
- j 打傷期親，人倫有失，

【復元】

- a 激變良民，私監鎖縛，非法毆民，情理何甘，
- b 義以為上，古訓昭然，力以相角，明戒具在，罔法毆民，律條難縱，
- c 某不事詩書，以爭鬪為奇貨，罔循禮儀，以詬毆作嘉謀，
- d 良賤相毆^①，賤以事貴，上下莫踰，尊以臨卑，分定不易，強奴毆主，情法何甘，
- e 某名義莫顧，惟血氣之是尚，貴賤倒置，恣膂力而自逞，肆兇毆主，據法何堪，
- f 欺毆期親^②，某視期親若秦越，待尊長如寇讎，反唇相稽^③，操戈入室，紆臂相奪，變弓反射，恃強欺毆，倫理乖傷，
- g 惡侄非人，逞兇悖逆，毆傷服叔，理法何當，
- h 打傷墮胎，兩命難保週全，天理何在，橫惡倚勢欺毆，律法難容，
- i 姪毆親叔，理反何宜，
- j 打傷期親，人倫有失，
- k 罵叔難容，有傷風化，

【語彙解】

①「良賤相毆」：『大明律』刑律三に規定がある。

②「欺毆期親」：『大明律』刑律三に「欺毆期親尊長」の規定がある。「期親」については【7-2】参照。

服喪の期間が定められた親族。

③「反臂相稽」：『中日』「反唇相稽」＝「口をとがらして言い争う」。

【現代語訳】

- a 良民を唆して騒ぎを起こし、勝手に拘束して縛り上げ、無法に民を殴るとは、人情・天理ともに許さないものだ。
- b 「義を尊ぶ」とは古来の明確な教訓である。力で競い合うことには明らかな制約がある。法をないがしろにして民を殴る行為を、法律は放置しておかない。
- c 某は『詩経』『書経』（などの経典）をろくに勉強もせず、争いを奇貨としている。礼儀に従うことなく、詰って殴ることを「良きはかりごと」としている。
- d **良民と賤民の殴り合い** 賤民は身分の高いものに仕えるべきであり、上下の分を越えてはいけない。尊長が卑幼に対する態度は、分が定まっており、これは不変の真理である。手強い奴僕が主人を殴ることなど、人情・国法ともに許さないのだ。
- e 某は大義名分など顧みず、血気の赴くままに行動しているだけだ。貴賤の分を逆転させ、腕力にものを言わせて暴力を振るっている。気ままに主人を殴るとは法において許されるものではない。
- f **期親を欺き殴る** 某は期親を赤の他人の如くに見なしている。尊長への応対は仇同士のような。腕力をふるって争い、武器を持って部屋に入り、腕をねじって奪い取り、弓を取りあげて射かけた。強さを笠に着て欺き殴るとは倫理に背き傷つけるものである。
- g 悪者の甥は人でなしで、悪虐非道の振る舞いをした。服喪関係にある叔父を殴って傷つけたこと、天理と国法にもとる行為である。
- h **傷つけて流産させる** 母体と胎児の二つの生命が危うくなっている。天理はいずこにあるのか。悪党が威勢にまかせて欺き殴るとは、法律では認めがたいものである。
- i 甥が叔父を殴るとは、天理に反しており、有るべき行為ではないのだ。
- j 期親を殴って傷つけるとは人の倫理に欠けている。
- k 叔父を罵るのは許し難い。教化を傷つけるものである。

【原文】

【8-3】**婚姻** 生妻死墓，国有定刑，匠人牀頂，情痛何堪，○違嫁娶之條，滅綱常之義，袁術之于呂布，是何心哉，管彥之於王裒，尚可言也，受聘負約，犯律違條，○**典僱妻女**男女婚姻，人倫大義，受財典僱，風化乖■，■理蕩然，綱常掃地，○**逐婿嫁女**以女配■■■一定，逐婿圖財，令女別嫁，厭貧求富，貪利傷倫，○一女一夫，逐婿豈容嫁女，招婿逐婿，一夫

又換一夫，綱常大壞，於理難容，○**喪服婚姻**忍心害理，作樂忘親，情甚不堪，律有明禁，○**同姓婚姻**曾之于吳，聖人所諱，從之于偃，君子所嫌，同姓匹配，亂倫敗常，○某無水木本源之思，有禽獸滅續之行，夫不夫而婦不婦，稱是何名，劉配劉而王配王，禮義何據，○**尊卑婚姻**尊卑有等，難結姻親，上下有章，豈為夫婦外姻，有服成婚，同母異父結配，敗壞綱常，故違法律，○尊卑親屬，難容結婚，同母異父，理實違例，○諧秦晉之約，紊亂尊卑，訂朱陳之盟，反傷風化，○**妻妾失序**某但知好色之可好，不顧風化之有乖，以妻為妾，天理難容，以妾為妻，情律何在，○律有七出之條，有三不去之義，婿先貧窮，今享富貴，賣女何辜，以妾為正，律有明條，人倫何在，○以妻為妾，寵妾賣妻，律有明條，難容顛倒，○**強娶服婦**魯人不納乎釐婦，柳下惠實為仁人，勢豪財大，強娶服婦，律法何容，

*『萬書萃寶』婚姻類

- b 違嫁娶條，滅綱常義，
- c **典雇妻女**，男女婚姻，人倫大義，受財典雇，風化乖違，倫理蕩然，綱常掃地，
- d **逐婿嫁女**，以女配失，終身不易，逐婿另嫁，貪利傷倫，
- f **喪服完娶**，忘親貪淫，情屬不堪，律有明律，
- g **同姓婚姻**，魯之於吳，聖人所諱，從之于偃，君子所嫌，同姓匹配，亂倫敗常，
- h 無水木？本源深思，有禽獸滅續，苟行劉配劉而王配王，禮義何據，
- i **尊卑婚姻**，尊卑有等，難結婚姻，上下有章，豈為夫婦■■，有服成婚，同母異父結配，敗壞綱常，故違法律，
- l **妻妾失序**，惟知姿色可好，不顧風化有乖，休妻■妾，法律何堪，

o **強娶服婦**，強娶服婦，王法何容，

*『五車拔錦』婚姻類

a 生妻死墓，国有定刑，匠人牀頂，情痛何堪，

b 違嫁娶之條，滅綱常之義，袁術之于呂布，是何心哉，管彥之於王褒，尚可言也，受聘負約，犯律違條，

c **典僱妻女**，男女婚姻，人倫大義，受財典僱，風化乖違，倫理蕩然，綱常掃地，

d **逐婿嫁女**，以女配夫，婚姻一定，逐婿圖財，令女別嫁，厭貧求富，貪利傷倫，

e 一女一夫，逐婿豈容嫁女，招婿逐婿，一夫又換一夫，綱常大壞，於理難容，

f **喪服婚姻**，忍心害理，作樂忘親，情甚不堪，律有明禁，

g **同姓婚姻**，曾之于吳，聖人所諱，從之于偃，君子所人，同姓匹配，亂倫敗常，

h 某無水土本源之思，有禽獸滅續之行，夫不夫而婦不婦，稱是何名，劉配劉而王配王，礼義何據，

i **尊卑婚姻**，尊卑有等，難結姻親，上下有章，豈為夫婦外姻，有服成婚，同母異父結配，敗壞綱常，故違法律，

j 尊卑親屬，難容結婚，同母異父，理實違例，

*『萬書淵海』婚姻類

b 違嫁娶條，滅綱常義，

c **典雇妻女**，男女婚姻，人倫大義，受財典僱，風化乖違，倫理蕩然，綱常掃地，

d **逐婿嫁女**，以女配夫，終身不易，逐婿另嫁，貪利傷倫，

f **喪服完娶**，忘親貪淫，情屬不堪，律有明條，

g **同姓為婚**，魯之於吳，聖人所諱，從之于偃，君子所嫌，同姓匹配，亂倫敗常，

h 無水木本源深思，有禽獸滅續，苟行劉配劉而王配王，禮義何據，

i 尊卑婚姻，尊卑有等，難結婚姻，上下有章，豈為夫婦外姻，有服成婚，同母異父結配，敗壞綱常，
故違法律，

l 妻妾失序，惟知姿色可好，不顧風化有乖，休妻寵妾，法律何在，

o 強娶服雇？，強娶服婦，王法何容，

*『學海群玉』婚姻類

a 生妻死墓，國有定刑，匠人牀頂，情痛何堪，

b 違嫁娶之條，滅綱常之義，袁術之于呂布，是何心哉，管彥之於王裒，尚可言也，受聘負約，犯律違
條，

c 典僱妻女，男女婚姻，人倫大義，受財典僱，風化乖違，倫理蕩然，綱常掃地，

d 逐婿嫁女，以女配夫，婚姻一定，逐婿圖財，令女別嫁，厭貧求富，貪利傷倫，

e 一女一夫，逐婿豈容嫁女，招婿逐婿，一夫又換一夫，綱常大壞，於理難容，

f 喪服婚姻，忍心害理，作樂忘親，情甚不堪，律有明禁，

g 同姓婚姻，曾之于吳，聖人所諱，從之于偃，君子所嫌，同姓匹配，亂倫敗常，

h 某無水木本源之思，有禽獸滅續之行，夫不夫而婦不婦，稱是何名，劉配劉而王配王，禮義何拋，

i 尊卑婚姻，尊卑有等，難結姻親，上下有章，豈為夫婦外姻，有服成婚，同母異父結配，敗壞綱常，
故違法律，

j 尊卑親屬，難容結婚，同母異父，理實違例，

k 諧秦晉之約，紊亂尊卑，訂朱陳之盟，及？傷風化，

l **妻妾失序**，某但知好色之可好，不顧風化之有乖，以妻為妾，天理難容，以妾為妻，情律何在，

m 律有七出之條，有三不去之義，婿先貧窮，今享富貴，賣女何辜，以妾為正，律有明條，人倫何在，

n 以妻為妾，寵妾賣妻，律有明條，人倫何在，

o **強娶服婦**，魯人不納乎嫠婦，柳下惠實為仁人，勢豪財大，強娶服婦，律法何容，

*『萬書萃錦』婚姻類

b 違嫁娶條，滅綱常義，

c **典僱妻女**，男女婚姻，人倫大義，受財典僱，風化乖違，倫理蕩然，綱常掃地，

d **逐婿嫁女**，以女配夫，終身不易，逐婿另嫁，貪利傷倫，

f **喪服完娶**，忘親貪淫，情屬不堪，律有明條，

g **同姓婚姻**，魯之於吳，聖人所諱，從之于偃，君子所嫌，同姓匹配，亂倫敗常，

h 無水木本源深思，有禽獸滅續，苟行劉配劉而王配王，禮義何據，

i **尊卑婚姻**，尊卑有等，難結婚姻，上下有章，豈為夫婦外姻，有服成婚，同母異父結配，敗壞綱常，

故違法律，

l **妻妾失序**，惟知姿色可好，不顧風化有乖，休妻寵妾，法律何在，

o **強娶服婦**，強娶服婦，律法何容，

*『全書備考』婚姻類

b 違嫁娶條，滅綱常義，

d 以女配夫，終身不易，逐婿另嫁，貪利傷倫，

*『積玉全書』婚姻類

b 違嫁娶條，滅綱常義，

- c 典僱親女，男女婚姻，人倫大義，受財典僱，風化乖違，倫理蕩然，綱常掃地，
- d 逐婿嫁女，以女配夫，終身不易，逐婿另嫁，貪利傷倫，
- f 喪服完娶，忘親貪淫，情屬不堪，律有明條，
- g 同姓婚姻，魯之於吳，聖人所諱，從之于偃，君子所嫌，同姓匹配，亂倫敗常，
- h 無水木本源深思，有禽獸滅續，苟行劉配劉而王配王，禮義何據，
- i 尊卑婚姻，尊卑有等，難結婚姻，上下有章，豈為夫婦外姻，有服成婚，同母異父結配，敗壞綱常，
故違法律，
- l 妻妾失序，惟知姿色可好，不顧風化有乖，休妻寵妾，法律何在，
- o 強娶服婦，強娶服婦，律法何容，

【復元】

- a 生妻死墓^①，國有定刑，匠人牀頂^②，情痛何堪，
- b 違嫁娶之條，滅綱常之義，袁術之于呂布^③，是何心哉，管彥之於王裒^④，尚可言也，受聘負約，犯律違條，
- c 典僱妻女^⑤，男女婚姻，人倫大義，受財典僱，風化乖違，倫理蕩然，綱常掃地，
- d 逐婿嫁女^⑥，以女配夫，婚姻一定，逐婿圖財，令女別嫁，厭貧求富，貪利傷倫，
- e 一女一夫，逐婿豈容嫁女，招婿逐婿，一夫又換一夫，綱常大壞，於理難容，
- f 喪服婚姻^⑦，忍心害理^⑧，作樂忘親，情甚不堪，律有明禁，
- g 同姓婚姻^⑨，魯之於吳，聖人所諱^⑩，從之于偃，君子所嫌^⑪，同姓匹配，亂倫敗常，
- h 某無水土本源之思^⑫，有禽獸滅續之行，夫不夫而婦不婦，稱是何名，劉配劉而王配王，
禮儀何據，

i 尊卑婚姻^⑬，尊卑有等，難結姻親，上下有章，豈為夫婦外姻，有服成婚，同母異父結配^⑭，敗壞綱常，故違法律，

j 尊卑親族，難容結婚，同母異父，理實違例，

k 諧秦晉之約^⑮，紊亂尊卑，訂朱陳之盟^⑯，反傷風化，

l 妻妾失序^⑰，某惟知好色之可好^⑱，不顧風化之有乖，以妻為妾，天理難容，以妾為妻，情律何在，

m 律有七出之條，有三不去之義，婿先貧窮，今享富貴，買女何辜，以妾為正，律有明條，人倫何在，

n 以妻為妾，寵妾賣妻，律有明條，人倫何在，

o 強娶服婦^⑲，魯人不納乎釐婦^⑳，柳下惠實為仁人^㉑，勢豪財大，強娶服婦，律法何容，

【語彙解】

①「生妻死墓」：未詳。『漢詞』は「生妻」を「年輕的妻子」とする。

②「匠人牀頂」：未詳。「牀頂」は枕もとの意であろうが、「匠人」はわからない。

③「袁術之于呂布」：『後漢書』列伝卷六五呂布伝「（袁）術遣韓胤以僭號事告（呂）布，因求迎婦，布遣女隨之。沛相陳珪恐術報布成姻，則徐楊合從，為難未已。於是往說布曰、曹公奉迎天子，輔贊國政，將軍宜與協同策謀，共存大計。今與袁術結姻，必受不義之名，將有累卵之危矣。布亦素怨術，而女已在塗，乃追還絕婚，執胤送許，曹操殺之。」

④「管彥之於王裒」：『晉書』卷八八王裒伝「鄉人管彥少有才而未知名，裒獨以為必當自達，拔而友之，男女各始生，便共許為婚。彥後為西夷校尉，卒而葬于洛陽，裒後更嫁其女。彥弟馥問裒，裒曰、吾薄志畢願山藪，昔嫁姊妹皆遠，吉凶斷絕，每以此自誓。今賢兄子葬父于洛陽，此則京邑之人也，豈吾結好之本意哉。馥曰、嫂，齊人也，當還臨淄。裒曰、安有葬父河南而隨母還齊、用意如此，何婚之有。」

⑤「典僱妻女」：『大明律』問刑條例・名例律に「...并縱容抑勒女及妻妾子孫之婦、与人通姦、或典与人、及姦内外有服親屬同僚部軍妻女、一應行止、...」とある。

- ⑥「逐婿嫁女」：『大明律』戸律三に「逐婿嫁女」の規定がある。
- ⑦「喪服婚姻」：『大明律』戸律三に「居喪嫁娶」の規定がある。
- ⑧「忍心害理」：『石山』「殘忍刻薄ナ心カラ惡事ヲ爲スコト」。『近代』「心腸殘忍毫無天理」。『中日』「殘酷で道理を顧みない」
- ⑨「同姓婚姻」：『大明律』戸律三に「同姓爲婚」の規定がある。
- ⑩「魯之於吳，聖人所諱」：『左伝』哀公十二年「昭夫人孟子卒、昭公娶于吳、故不書姓」
- ⑪「從之于偃，君子所嫌」：未詳。あるいは「草偃風從」という熟語で使われる以下の典拠であろうか。
- 『論語』顔淵篇「君子之德風，小人之德草，草上之風必偃，(疏)...在上君子為政之德，若風在下，小人從化之德，如草加草以風，無不仆者，猶化民以正無不從者，...」
- ⑫「水土本源之思」：未詳。あるいは『左伝』僖公十五年「...慶鄭曰，古者大事，必乘乘其產，生其水土，而知人心，」を出典とするのであろうか。『會箋』は「水土即地也。地本作[水+土]，故曰水土，而對人心」とする。
- ⑬「尊卑婚姻」：『大明律』戸律三に「尊卑爲婚」の規定がある。
- ⑭「同母異父結配」：「同母異父姉妹」＝『国字解』202「たねかはりのあねいもと」
- ⑮「諧秦晉之約」：『左伝』僖公二十三年「怒曰、秦晉匹也、何以卑我」
- ⑯「訂朱陳之盟」：『白居易集』（顧学頤校点、中華書局、1979年）卷十「朱陳村」に「徐州古豐村、有村曰朱陳、...一村唯兩姓、世世爲婚姻、...」とある。
- ⑰「妻妾失序」：『大明律』戸律三に「妻妾失序」の規定がある。
- ⑱「可好」：『中日』「折りよく、都合よく、丁度いい時に」
- ⑲「強娶服婦」：『大明律』に同文の規定はないが、戸律三に「強占良家妻女」の規定がある。
- ⑳「魯人不納乎釐婦」：『孔子家語』好生第十「魯人有獨處室者，鄰之釐婦亦獨處一室，夜暴風雨至，釐婦室壞，趨而托焉，魯人閉戸而不納，釐婦自牖與之言、何不仁而不納我乎。魯人曰、吾聞男女不六十不同居，今子幼，吾亦幼，是以不敢納爾也。婦人曰、子何不如柳下惠然，嫗不逮門之女，國人不稱其

亂。魯人曰、柳下惠則可、吾固不可、吾將以吾之不可、學柳下惠之可。孔子聞之曰、善哉、欲學柳下惠者、未有似於此者。期於至善、而不襲其為、可謂智乎」

②「柳下惠實為仁人」：同前。また『烈女傳』辯通篇「玉石墜泥不為汙、柳下覆寒女不為亂」

【現代語訳】

- a 若い妻が死んだ場合の墓葬については(?)、国家に刑罰の規定がある。匠人牀頂(?)、心の痛みに堪えられようか。
- b 嫁取りの規定に違うことは人の道をないがしろにすることだ。袁術が呂布の娘を娶らなかつた故事は心ない行為ではないか。王褒が管彦の娘を娶った故事は評価すべきである。婚礼の贈り物を受け取りながら婚約を履行しなかつたことは法律に違反している。
- c **妻や娘を質に入れること** 男女の婚姻は人倫の大義(に基づいている)。金品を受け取って(妻や娘を)質に入れることは教化の道にもとる。これでは倫理が消え去り、人の道が一掃されてしまう。
- d **婿を追い出して娘を嫁がせること** 娘に婿を取るという婚約が定まったのに、婿を追い出し、財産ねらって別の家に嫁入りさせた。貧乏な家を嫌って裕福な家を求めたのであり、利益をむさぼって倫理を傷つけている。
- e 娘に婿を取ったのに、婿を追い出し娘を嫁がせるなど許されようか。婿を迎えたのに追い出すとは、次々と夫を換えることである。人の道が壊されることであり、天理において許しがたいことだ。
- f **喪に服しているときに婚姻をおこなうこと** 刻薄な心で悪事をなし、音楽を演奏して(死んだ)親を忘れるとは、人情として堪えがたいし、律に明らかな禁止規定がある。
- g **同姓間の婚姻** 魯と呉の婚姻は聖人が認めなかつたし、風になびく草のような小人の徳は君子が嫌ったものである。同姓の婚姻は倫理を乱し、人の道にもとるものである。
- h 某にはその土地に根付いている(血統が続いてきた?)という思いはなく、禽獣が後継を断つような行ないをしている。これでは夫は夫たることができず、妻は妻たることができない。いかなる名分にかなうのか。劉氏が劉氏に嫁ぎ、王氏が王氏に嫁ぐとは、いかなる儀礼の根拠があるのか。
- i **尊卑の身分違いの婚姻** 尊卑の身分には区別があるので婚姻関係を結び難い。身分の上下にはきまりがあり、夫婦や姻戚になることはできないのだ。服喪関係にある親族が婚姻関係を結び、同母異父(の姉妹)と結婚するとは、人の道を破り、ことさらに法律に違うことである。
- j 尊長と卑幼の関係にある親族が結婚するのは許し難い。同母異父(の姉妹と結婚すること)はまことに法律に違反している。

- k 秦と晋のような婚姻関係を結んだことが尊卑の身分関係を混乱させた。朱陳村のような婚姻関係を結んだことが、かえって教化を傷つけた。
- l **妻妾の秩序を失すること** 某は自分の好色の都合を考えるばかりで、教化を傷つけることなど顧みない。妻を妾にすることは天理が許さないことだ。妾を妻にするということになれば人情や国法はいったいどこにあるというのか。
- m 律には「七出」の条文があり、「三不去」の意義が述べられている。婿はもともと貧乏であったが今は金も地位もある。女を買うことには何の罪もないが、妾を正妻とするのは律に明確な禁止の条文がある。人の倫理はどこにあるというのか。
- n 正妻を妾とし、妾を寵愛して正妻を売った。律には明確な禁止の条文がある。人の倫理はどこにあるというのか。
- o **喪に服している婦人を無理に娶ること** 魯人は（緊急時でも）寡婦を家に入れなかったし、柳下恵はまことに仁人であった。喪に服している婦人を無理に娶るとは法律が許すはずがない。

【原文】

【8-4】**姦情** 人倫風化，律法為綱，倚勢強姦婦女，欺條壞法何甘，○男女有別，授受不親，君子別嫌，淫蕩是戒，恃強調戲，倚勢強姦，敗壞人倫，大乖風化，○閨門內戒，萬化端原，私約淫奔，有傷風化，○**容縱犯姦**，夫婦夙緣之分，妻妾嫡庶之原，某喪其廉恥，縱容妻妾通姦，惟圖利賄，實與禽獸何異，○夫婦萬化之原，妻妾綱常之植，縱姦捉姦，跡比狗彘之行，買休賣休，有傷風化之體，○**親屬相姦**，親屬之分，倫理昭然，私通姦宿，天理滅絕，貪淫恣慾，牛馬同途，○天倫分定，尊卑分嚴，氏潑惡而不守婦道，思離異而誣執翁姦，悖亂人倫，大傷風化，○**買良為娼**，良賤不以為婚，娼優豈可類論，買良為娼，違條犯律，

*『萬書萃寶』姦情類

- a 人倫風化，律法為綱，倚勢強奸婦女，犯條壞法何甘，
- b 男女有別，授受不親，君子別嫌，淫蕩是戒，恃強調戲，倚勢強奸，敗壞人倫，大乖風化，

- c 閨門內戒，萬化端原，私約淫奔，有傷風化，
- d 容縱犯姦夫婦夙緣之分，妻妾嫡庶之原，某喪其廉恥，縱容妻妾通奸，惟圖利賄，實與禽獸何異，
- e 夫婦萬化之原，妻妾綱常之植，縱姦捉姦，跡比狗彘之行，買休賣休，有傷風化之體，
- f 親屬相姦親屬之分，倫理昭然，私通姦宿，天理滅絕，貪淫恣慾，牛馬同途，
- g 天倫分定，尊卑分嚴，氏潑惡而不守婦道，思離異而誣執翁姦，悖乱人倫，大傷風化，
- h 買良為娼良賤不以為婚，娼優豈可類論，買良為娼，違條犯罪，（【8-4】姦情·結段『全書備考』d とほぼ同文）

*『五車拔錦』姦情類

- a 人倫風化，律法為綱，倚勢強姦婦女，欺條壞法何甘，
- b 男女有別，授受不親，君子別嫌，淫蕩是戒，恃強調戲，倚勢強姦，敗壞人倫，大乖風化，
- c 閨門內戒，萬化端原，私約淫奔，有傷風化，
- d 容縱犯姦，夫婦夙緣之分，妻妾嫡庶之原，某喪其廉恥，縱容妻妾通姦，惟圖利賂，實與禽獸何異，
- e 夫婦萬化之原，妻妾綱常之植，縱姦捉姦，跡比狗彘之行，賣休買休，有傷風化之體，
- f 親屬相姦，親屬之分，倫理昭然，私通姦宿，天理滅絕，貪淫私慾，牛馬同途，

*『萬書淵海』姦情類

- a 人倫風化，律法為綱，倚勢強奸婦女，犯條壞法何甘，
- b 男女有別，授受不親，君子別嫌，淫蕩是■，恃強調戲，倚勢強奸，敗壞人倫，大乖風化，
- c 閨門內戒，萬化端原，私約淫奔，有傷風化，
- d 容縱犯姦，夫婦夙緣之分，妻妾嫡庶之原，某喪其廉恥，縱容妻妾通奸，惟圖利賄，實與禽獸何異，
- e 夫婦萬化之原，妻妾綱常之植，縱姦捉姦，跡比狗彘之行，買休賣休，有傷風化之體，

- f 親屬相姦，親屬之分，倫理昭然，私通姦宿，天理滅絕，貪淫恣慾，牛馬同途，
- g 天倫分定，尊卑分嚴，氏潑惡而不守婦道，思離異而誣執翁姦，悖亂人倫，大傷風化，
- h 買良為娼，良賤不以為婚，娼優豈可類論，買良為娼，違條犯罪，

*『學海群玉』姦情類

- a 人倫風化，律法為綱，倚勢強姦婦女，欺條壞法何甘，
- b 男女有別，授受不親，君子別嫌，淫蕩是戒，恃強調戲，倚勢強姦，敗壞人倫，大乖風化，
- c 閨門內戒，萬化端原，私約淫奔，有傷風化，
- d 容縱犯姦，夫婦夙緣之分，妻妾嫡庶之原，某喪其廉恥，縱容妻妾通姦，惟圖利賂，實與禽獸何異，
- e 夫婦萬化之原，妻妾綱常之植，縱姦捉姦，跡比狗彘之行，賣休買休，有傷風化之體，
- f 親屬相姦，親屬之分，倫理昭然，私通姦宿，天理滅絕，貪淫恣慾，牛馬同途，
- g 天倫分定，尊卑分嚴，氏潑惡而不守婦道，思離異而誣執翁姦，悖亂人倫，大傷風化，
- h 買良為娼，良賤不以為婚，娼優豈可類論，買良為娼，違條犯律，

*『萬書萃錦』姦情類

- a 人倫風化，律法為綱，倚勢強姦婦女，犯條壞法何甘，
- b 男女有別，授受不親，君子別嫌，淫蕩是戒，恃強調戲，倚勢強姦，敗壞人倫，大乖風化，
- c 閨門內戒，萬化端原，私約淫奔，有傷風化，
- d 容縱犯姦，夫婦夙緣之分，妻妾嫡庶之原，某喪其廉恥，縱容妻妾通姦，惟圖利賂，實與禽獸何異，
- e 夫婦萬化之原，妻妾綱常之植，縱姦捉姦，跡比狗彘之行，賣休買休，有傷風化之體，
- f 親屬相姦，親屬之分，倫理昭然，私通姦宿，天理滅絕，貪淫恣慾，牛馬同途，
- g 天倫分定，尊卑分嚴，氏潑惡而不守婦道，思離異而誣執翁姦，悖亂人倫，大傷風化，

h 買良為娼，良賤不以為婚，娼優豈可類論，買良為娼，違條犯罪，

*『全書備考』姦情類

a 人倫風化，律法為綱，勢倚強奸婦人，犯條壞法何甘，

c 閨門內戒，風化端原，私約淫奔，有傷風化，

h (買良為娼)，良賤不以為婚，娼[女+憂]?豈可類論，賣良為娼，違律犯罪，

*『積玉全書』姦情類

a 人倫風化，律法為綱，倚勢強姦婦女，犯條壞法何甘，

b 男女有別，授受不親，君子別嫌，淫蕩是戒，恃強調戲，倚勢強姦，敗壞人倫，大乖風化，

c 閨門內戒，萬化端原，私約淫奔，有傷風化，

d 容縱犯姦，夫婦夙緣之分，妻妾嫡庶之原，某喪其廉恥，縱容妻妾通姦，惟圖利賂，實與禽獸何異，

e 夫婦萬化之原，妻妾綱常之植，縱奸捉奸，跡比狗彘之行，賣休買休，有傷風化之體，

f 親屬相姦，親屬之分，倫理昭然，私通姦宿，天理滅絕，貪淫恣慾，車馬同途，

g 天倫分定，尊卑分嚴，氏潑惡而不守婦道，思離異而誣執翁奸，悖亂人倫，大傷風化，

h 買良為娼，良賤不以為婚，娼優豈可類論，買良為娼，違條犯罪，

【復元】

a 人倫風化，律法為綱，倚勢強姦婦女，欺條壞法何甘，

b 男女有別^①，授受不親，君子別嫌，淫蕩是戒，恃強調戲，倚勢強姦，敗壞人倫，大乖風化，

c 閨門內戒，萬化端原，私約^②淫奔^③，有傷風化，

d 容縱犯姦^④，夫婦夙緣之分，妻妾嫡庶之原，某喪其廉恥，縱容妻妾通姦，惟圖利賂，實

與禽獸何異，

e 夫婦萬化之原，妻妾綱常之植，縱姦捉姦，跡比狗彘之行，買休賣休，有傷風化之體，

f 親屬相姦^⑤，親屬之分，倫理昭然，私通姦宿，天理滅絕，貪淫私慾，牛馬同途，

g 天倫分定，尊卑分嚴，氏潑惡而不守婦道，思離異而誣執翁姦，悖亂人倫，大傷風化，

h 買良為娼^⑥，良賤不以為婚，娼優豈可類論，買良為娼，違條犯罪，

【語彙解】

- ① 「男女有別，授受不親」：『孟子』離婁章句・上「淳于髡曰、男女授受不親、礼與、孟子曰、礼也」
- ② 「私約」：『国字解』197「内しよのいひなづけなり」。『中法』「未經媒酌之言和書写婚書、而私自議訂的婚約」。
- ③ 「淫奔」：『近代』「男女私通逃走」。『中法』「旧謂男女私相奔就、自行結合。多指女方往就男方」。『中日』「男女私通する。多く女の方からの場合をいう」。
- ④ 「容縱犯姦」：『大明律』刑律八に「縱容妻妾犯姦」の規定がある。
- ⑤ 「親屬相姦」：『大明律』刑律八に同文の規定がある。
- ⑥ 「買良為娼」：『大明律』刑律八に同文の規定がある。

【現代語訳】

- a 倫理と教化は法律が大綱となっている。威勢を笠に着て婦女を強姦するとは、法律を侮って、台無しにするものであって、堪えられるものではない。
- b 男女には区別があり、直接には物の受け渡しを行なわない。君子はことさらにこれを嫌っており、淫蕩を戒めている。強さを恃んで婦女をからかい、威勢を笠に着て婦女を強姦するとは、倫理を破壊し、大いに教化にもとる所行である。
- c 奥向きを取り締まるのは教化の端緒である。(家長に無断で) 許嫁となった女から私通を求めるのは教化を傷つけるものである。
- d 姦通を容認すること 夫婦には前世からの分があり、妻妾は嫡子・庶子の源である。某は廉恥の心を失い、妻や妾が姦通するのを容認している。ただ利益をねらっているだけなのだ。これではまったく禽獣と異なるところがないではないか。
- e 夫婦は万物の教化の根源であり、妻妾のあり方は三綱五常を養成する。姦通を放置するのも捕えるのも畜生の行ないに匹敵する。金銭を払って妻を追い出したり、金銭をもらって身を引いたりするのは、教化の形体を傷つけるものである。
- f 親族が姦通すること 親属の分に関する倫理は明らかである。私通、姦通しては天

理のかけらもなくなる。私欲を貪っているのは牛や馬と変わらない。

g 人倫の分は定まっております、尊長卑幼の区別は厳しい。某氏は家内の悪事をぶちまけて婦道を守らず、離婚を前提に舅の姦通事件を誣告した。これは人倫に背く行為であり、大いに教化を傷つけるものである。

h 良民を買って娼妓とする 良民と賤民は結婚しない。娼妓・俳優は良民とみなさないのだ。良民を買ってきて娼妓とすることは法律に反して罪を犯している。

【原文】

【8-5】戸口 略買略賣，故違法紀，割人供家，于心何安，○漏脱戸口，心懷詭詐，有出入莫測之神，事變靡常，有指東就西之術，丁雖壯而素不附籍，賦雖重而何嘗當差，○強占子女，倚勢欺人，恃強壓衆，奪良家女子，以為妻妾，占婦女在家，而配弟姪，子孫家人，條律昭然而敢違，刑法可畏而敢犯，○收留迷失，利其迷失，何曾入井之憐，輒自居停，反坐下石之計，圖轉嫁賣，深密隱藏，○伊係收留，律不宜為妻妾，天緣配就，一夫一婦為良，○隱蔽差役，賦役以紀丁糧，均徭以當差役，戸不附籍，而躲避當差，丁口隱蔽，而相冒合戸，受財作弊，倚官害民，○有田則有賦，有丁則有役，賦役不均，民安得所，○逃逃差役，賦以定差，丁以着役，畏懼差徭而避難，躲重脫輕，背離鄉井以逋逃，希圖脫免，○離鄉背籍，希圖脫免差徭，越境逋逃，實乃躲避賦役，○立嫡違法，服族別而規疎不紊，長幼明而縱立斯長，某廢長幼之節，亂嫡庶之倫，公不容私，難以微啟受辛，恩不勝義，母以泰伯季歷，○宗道乃人綱之正，紊亂乃是姓之非，律有正條，理當改立，○私刱庵院，私度僧道，不給度牒，遽服緇黃，不請赦書，擅營寺觀，正道掃地而可慨，異端滔天而當除，○師巫邪術，人以正道為格，心以性理為端，重道崇釋，違律犯禁，師巫邪術，理實難容，

*『萬書萃寶』

a 略買略賣，故違法紀，割人供家，于心何安，

- b 漏脫戶口，心懷詭計？，有出入莫測之神，事變靡常，丁雖壯而素不附籍，賦雖重而何嘗當差，
- c 強占子女，倚勢欺人，恃強壓衆，奪良以為妻妾，占女而配弟姪，
- d 收留迷失，利其迷失，何曾入井之憐，輒自居停，反坐下石之計，圖轉賣嫁，深密隱藏，
- e 伊係收留，律不宜為妻妾，天緣配就，一夫一婦為良，
- f 隱藏差役，賦役以紀丁糧，均徭以當差役，不附籍而逃躲，自隱蔽而相冒，受財作弊，倚官害民，
- g 有田則有賦，有丁則有役，賦役不均，民安得所，
- h 逃避差役，賦以定差，丁以着役，畏懼而避，躲重脫輕，背離鄉井，希圖脫免，
- j 立嫡違法，廢長幼之節，乱嫡庶之倫，公不容私，難以微啟受辛，恩不勝義，毋以泰伯季歷，
- k 宗道乃人綱之正，紊乱乃族氏之非，律有正條，理當改立，
- l 私約？庵院，私度僧道，不給度帖，遽服緇黃，不請赦書，擅營寺觀，正道掃地而可慨，異端滔天而當除，
- m ■巫？邪術，重道崇釋，違律犯禁，師巫邪術，理實難容，
- *『五車拔錦』
- a 略買略賣，故違法紀，販人供家，于心何安，
- b 漏脫戶口，心懷詭詐，有出入莫測之神，事變靡常，有指東就西之術，丁雖壯而素不附籍，糧雖重而何嘗當差，
- c 強占子女，倚勢欺人，恃強壓衆，奪良家女子，以為妻妾，占婦女在家，而配弟姪，子孫家人，條律昭然而敢違，刑法可畏而敢犯，
- d 收留迷失，利其迷失，何曾入井之憐，輒自居停，反坐下石之計，圖轉嫁賣，深審隱藏，
- e 伊係收留，律不宜為妻妾，天緣配就，一夫一婦為良，

f 切思，賦役以紀丁糧，均徭以當差役，戶不附籍，而躲避當差，丁口隱蔽，而相冒合戶，受財作弊，倚官害民，

g 有田則有賦，有丁則有役，賦役不均，民安得所，

h 逃避差役，賦以定差，丁以着役，畏懼差徭而避難，躲重脫輕，背離鄉井以遁逃，希圖脫免，

i 離鄉背籍，希圖脫免差徭，越境遁逃，實乃躲避賦役，

j 立嫡違法，服族別而親疎不紊，長幼明而繼立斯長，某廢長幼之節，亂嫡庶之倫，公不容私，難以微啟受辛，恩不勝義，母以泰伯季歷，

*『萬書淵海』

a 掠買掠賣，故違法紀，割人供家，于心何安，

b 漏脫戶口，心懷詭計？，有出入莫測之神，事變靡常，丁雖壯而素不附籍，賦雖重而何嘗當差，

c 強占子女，倚勢欺人，恃強壓衆，奪良以為妻妾，占女而配弟姪，

d 收留迷失，利其迷失，何曾入井之憐，輒自居停，反坐下石之計，圖轉賣嫁，深密隱藏，

e 伊係收留，律不宜為妻妾，天緣配就，一夫一婦為良，

f 隱藏差役，賦役以紀丁糧，均徭以當差役，不附籍而逃躲，自隱蔽而相冒，受財作弊，倚官害民，

g 有田則有賦，有丁則有役，賦役不均，民安得所，

h 逃避差役，賦以定差，丁以着役，畏懼而避，躲重脫輕，背離鄉井，希圖脫免，

j 立嫡違法，廢長幼之節，亂嫡庶之倫，公不容私，難以微啟受辛，恩不勝義，母以泰伯季歷，

k 宗道乃人綱之正，紊亂乃族氏之非，律有正條，理當改立，

l 私剃庵院，私度僧道，不給度帖，遽服緇黃，不請敕書，擅營寺觀，正道掃地而可慨，異端滔天而當

除，

m 師巫邪術，重道崇釋，違律犯禁，師巫邪術，理實難容，

*『學海群玉』戶口類「前ママ段」

a 略買略賣，故違法紀，割人供家，于心何安，

b 漏脫戶口，心懷詭詐，有出入莫測之神，事變靡常，有指東就西之術，丁雖壯而素不附籍，賦雖重而何當當差，

c 強占子女，倚勢欺人，恃強壓衆，奪良家女子，以為妻妾，占婦女在家，而配弟姪，子孫家人，條律昭然而敢違，刑法可畏而敢犯，

d 收留迷失，利其迷失，何曾入井之憐，輒自居停，反坐下石之計，圖轉嫁賣，深密隱藏，

e 伊係收留，律不宜為妻妾，天緣配就，一夫一婦為良，

f 隱蔽差役，賦役以紀丁糧，均瑤？以當差役，戶不附籍，而躲避當差，丁口隱蔽，而相冒合戶，受財作弊，倚官害民，

g 有田則有賦，有丁則有役，賦役不均，民安得所，

h 躲避差役，賦以定差，丁以着役，畏懼差徭而避難，躲重脫輕，背離鄉井以遁逃，希圖脫免，

i 離鄉背籍，希圖脫免差徭，越境遁逃，實乃躲避賦役，

j 立嫡違法，服族別而親疎不紊，長幼明而縱立斯長，某廢長幼之節，亂嫡庶之倫，公不容私，難以微啟受辛，恩不勝義，母以泰伯季歷，

k 宗道乃人綱之正，紊亂乃是姓之非，律有正條，理當改立，

l 私劫庵院，私度僧道，不給度牒，遽服緇黃，不請赦書，擅營寺觀，正道掃地而可慨，異端滔天而當

除，

- m 師巫邪術，人以正道為格，心以性理為端，重道崇釋，違律犯禁，師巫邪術，理實難容，

*『五車萬寶全書』

- a 略買略賣，故違法紀，割人供家，于心何忍，
- b 漏脫戶口，心懷詭計，有出入莫測之神，事變靡常，丁口雖壯而素行不附籍，賦雖重而何嘗當差，
- c 強占子女，倚勢欺人，恃強壓■，奪良以為妻妾，占女而配弟姪，
- d 收留迷失，利其迷，何曾入井之怜，輒自居停，反坐下石之計，圖轉賣嫁，深密隱藏，
- e 伊係收留，律不宜為妻妾，天緣配就，一夫一婦為良，
- f 蔽隱差役，賦役以紀丁糧，均徭以當差役，不附籍而逃躲，自隱蔽而相冒，受財作弊，倚官害民，
- g 有田則有賦，有丁則有役，賦役不均，民安得所，
- h 逃避差役，賦以定差，丁以着役，畏懼而避，躲重脫輕，背井離鄉，希圖脫免，
- j 立嫡違法，廢長幼之節，乱嫡庶之倫，公以容私，難以微啟受辛，恩不忘養，母以泰伯季歷，
- l 私刼庵院，私度僧道，不給度帖，遽服緇黃，不請赦書，擅營寺觀，正道掃地而可慨，異端滔天而當

除，

*『萬書萃錦』

- a 掠買掠賣，故違法紀，割人供家，于心何安，
- b 漏脫戶口，心懷詭計，有出入莫測之神，事變靡常，丁雖壯而附不附籍，賦雖重而何嘗當差，
- c 強占子女，倚勢欺人，恃強壓衆，奪良以為妻妾，占女而配弟姪，
- d 取留迷失，利其迷失，何曾入井之憐，輒自居停，反坐下石之計，圖轉賣嫁，深密隱藏，
- e 伊係收留，律不宜為妻妾，天緣配就，一夫一婦為良，

- f 隱蔽差役，賦役以紀丁糧，均徭以當差役，不附籍而逃躲，自隱蔽而相冒，受財作弊，倚官害民，
- g 有田則有賦，有丁則有役，賦役不均，民安得所，
- h 逃避差役，賦以定差，丁以着役，畏懼而避，躲重脫輕，背離鄉井，希圖脫免，
- j 立嫡違法，廢長幼之節，亂嫡庶之倫，公不容私，難以微啟受辛，恩不勝義，毋以泰伯季歷，
- k 宗道乃人綱之正，紊亂乃族氏之非，律有正條，理當改正，
- l 私刼庵院，私度僧道，不給度帖，遽服緇黃，不請勅書，擅營寺觀，正道掃地而可慨，異端滔天而當除，

m 師巫邪術，重道崇釋，違律犯禁，師巫邪術，理實難容，

*『積玉全書』

- a 掠買掠賣，故違法紀，割人供家，于心何安，
- b 漏脫戶口，心懷詭計，有出入莫測之神，事變靡常，丁雖壯而素不附籍，賦雖重而何嘗當差，
- c 強占子女，倚勢欺人，恃強壓衆，奪良以為妻妾，占女而配弟姪，
- d 取留迷失，利其迷失，何曾入井之憐，輒自居停，反生下石之計，圖轉賣嫁，深密隱藏，
- e 伊係收留，律不宜為妻妾，天緣配就，一夫一婦為良，
- f 隱蔽差役，賦役以紀重糧，均徭以當差役，不附籍而躲避，自隱蔽而相冒，受財作弊，倚官害民，
- g 有田則有賦，有丁則有役，賦役不均，民安得所，
- h 逃避差役，賦以定差，丁以着役，畏懼而避，躲重脫輕，背離鄉井，希圖脫免，
- j 立嫡違法，廢長幼之節，亂嫡庶之倫，公不容私，難以微啟受辛，恩不勝義，毋以泰伯季歷，
- k 宗道乃人綱之正，紊亂乃族氏之非，律有正條，理當改正，
- l 私刼庵院，私度僧道，不給度牒，遽服緇黃，不請勅書，擅營寺觀，正道掃地而可慨，異端滔天而當

除，

m **師巫邪術**，重道崇釋，違律犯禁，師巫邪術，理實難容，

【復元】

a 略買略賣，故違法紀，販人供家，于心何安，

b **漏脫戶口**①，心懷詭詐，有出入莫測之神，事變靡常，有指東就西之術②，丁雖壯而素不附籍，糧雖重而何嘗當差，

c **強占子女**③，倚勢欺人，恃強壓眾，奪良家女子，以為妻妾，占婦女在家，而配弟姪，子孫家人，條律昭然，而敢違刑法，可畏而收犯，

d **收留迷失**④，利其迷失，何曾入井之怜⑤，輒自居停⑥，反坐下石之計⑦，圖轉嫁賣，深密隱藏，

e 伊係收留，律不宜為妻妾，天緣配就，一夫一婦為良，

f 切思，賦役以紀丁糧，均徭以當差役，戶不附籍，而躲避當差，丁口隱蔽，而相冒合戶⑧，受財作弊，倚官害民，

g 有田則有賦，有丁則有役，賦役不均，民安得所，

h **逃避差役**⑨，賦以定差，丁以着役，畏懼差徭而避難，躲重脫輕，背離鄉井以遁逃，希圖脫免，

i 離鄉背籍，希圖脫免差徭，越境遁逃，實乃躲避賦役，

j **立嫡違法**⑩，服族別而親疏不紊，長幼明而繼立斯長，某廢長幼之節，亂嫡庶之倫，公不容私，難以微啟受辛⑪，恩不勝義，毋以泰伯季歷⑫，

k 宗道乃人綱之正，紊亂乃族氏之非，律有正條，理當改立，

l 私扃庵院，私度僧道^⑬，不給度牒，遽服緇黃，不請赦書^⑭，擅營寺觀，正道掃地而可慨，異端滔天而當除，

m 師巫邪術^⑮，重道崇釋，違律犯禁，師巫邪術，理實難容，

【語彙解】

- ①「脱漏戸口」：『大明律』戸律一に同文の規定がある。『国字解』172「家にかくしたるは脱戸なり。人にかくしたるは漏口なり」
- ②「指東就西之術」：『中日』「指東説西」＝「あれこれと無関係のことを言って、本題をいい出さない」。
- ③「強占婦女」：『大明律』戸律三に「強占良家妻女」の規定がある。「凡豪勢之人、強奪良家妻女、姦占為妻妾者絞、婦女給親、配與子孫弟姪家人者亦如之、」
- ④「収留迷失」：『大明律』戸律一に「収留迷失子女」の規定がある。
- ⑤「入井之怜」：未詳。『孟子』公孫丑章句上の「惻隱之心仁端也」にかかわる言葉として訳す。
- ⑥「居停」：渡辺紘良「宋代潭州湘潭県の黎氏をめぐる」(『東洋学報』65-1・2、1984年)では「居停人」＝「安停人」を「江戸時代の公事宿に類するもの」とする。
- ⑦「下石之計」：『名公書判清明集』(官吏門)訳注稿〈上〉62頁注(2)で『韓昌黎集』を引用して「人の弱みにつけこんで、さらに害を加えること」とする。
- ⑧「相冒合戸」：『国字解』172「二軒を一軒ぶんにして戸籍にのすることなり」
- ⑨「逃避差役」：『大明律』戸律一に「逃避差役」の規定がある。
- ⑩「立嫡違法」：『大明律』戸律一に「立嫡子違法」の規定がある。
- ⑪「難以微啟受辛」：『史記』殷本紀「帝乙長子曰微子啟，啟母賤，不得嗣。少子辛，辛母正后，辛為嗣。帝乙崩，子辛立，是為帝辛，天下謂之紂。」
- ⑫「母以泰伯季歷」：『史記』周本紀「古公有長子曰太伯，次曰虞仲。太姜生少子季歷，…古公曰：我世當有興者，其在昌乎？長子太伯、虞仲知古公欲立季歷以傳昌，乃二人亡如荊蠻，文身斷髮，以讓季歷。」なお、周の王位継承順は「古公—季歷—昌（文王）—武王」である。
- ⑬「私扃庵院、私度僧道」：『大明律』戸律一に「私扃庵院立及私度僧道」の規定がある。
- ⑭「赦書」：普通は恩赦の詔勅であろうが、ここでは未詳。文意から言えば「賜額」の勅か許可書であり、『萬書萃錦』『積玉全書』に従い「勅書」とする。
- ⑮「師巫邪術」：『大明律』礼律一に「禁止師巫邪術」の規定がある。

【現代語訳】

a 人を誘拐して売買することは、もとより法規に反している。人を売買して家を養うなど、

心が安んじていられるのであろうか。

- b **戸口の脱漏** 心底ずる賢い輩は思いも及ばない巧みさをもっており、限りなく変化する事態に対しては見当外れのことを言ってごまかす技術がある。壮健な男子がいるのに戸籍に付けていないし、税糧は重いのに徭役に出たことがない。
- c **子女を奪ってわが物にする** 威勢によって人を欺き、強さを笠に着て民衆を圧迫した。良家の女子を奪って来て妾とし、婦女を力づくで家に入れ、弟や甥の妻とした。(その妻をあてがわれた) 子孫と家人の処置についても法に明記されている。ぬけぬけと刑法に違反しており、捕えて畏れ入らせるべきである。
- d **行方不明の人を收容する** その人が行方不明者であるのを奇貨とするばかりで、「惻隱の心」(『孟子』)など持たためしかなかった。みだりに公事宿を経営して、反坐の罪を着せて人の弱みにつけこんだ。女子を転売して嫁がせ、秘匿してきた。
- e 彼は行方不明者を收容するという罪を犯したのであって、律では妻妾とすることができない。天のめぐりあわせによる一夫一婦がよいとされるのである。
- f ひそかに思うに、賦役は税糧と丁数に対応し、差役は均等に負担させるべきである。(ところが某は) 戸籍に付けず、徭役から逃れており、丁男を隠して、不法にも二戸を一戸に合併させている。金銭を受け取って悪事をなし、官の権威を笠に着て民に害を与えているのである。
- g 農地があれば賦税があり、丁男がいれば徭役がある。賦役が均等でなければ、民には居場所がない。
- h **差役を逃れる** 賦税は定額を負担し、壮丁は徭役に出るべきである。差役の負担を恐れて逃れ、重いものからも軽いものからも逃れた。郷村から逃げだして負担から逃れることをねらっているのだ。
- i 郷村から逃げだして徭役の負担から逃れることをねらっている。境界を越えて逃亡するのは、実は賦役を逃れるためである。
- j **違法に後継ぎを立てる** 服喪期間の区別があるから宗族の親疎関係は混乱しないし、長幼の別が明らかであるから後継ぎに尊長の者を立てるのである。某は長幼のきまりを廃し、嫡庶の秩序を乱した。公のきまりは私情をさしはさむことを許さず、殷の庶子である長子・微啓が、実子である三男・受辛に王の地位を継承させるということはあってはならなかった。恩が義に勝ることはなく、周の長子・泰伯が三男・季歴に王位を譲るということはあってはならなかった。
- k 宗法は人倫の正道であり、これを紊乱することは氏族にとっての悪である。律に正文があるので(後継ぎを)改めて立てるのが筋である。
- l **勝手に庵院を創め、僧侶や道士を私度する** 度牒を与えずに僧侶・道士とし、勅令を求めずに、みだりに寺観を営んでいる。正道が地を払うようになれば嘆くべきだし、異端の宗教が天にまではびこれば取り除くべきである。
- m **巫覡の妖術** 道教を重んじ仏教を崇拝するのは、律に反し禁令を犯している(?)。巫覡が妖術を使うのは当然許しがたい。

【原文】

【8-6】**錢債田土** **欺隱田糧**，欺隱錢糧，脫隱版籍，虧損正稅，雖尹鐸之保障，亦所不容，減耗軍需，雖白圭之貉道，亦所當究，用舉其弊，以懲其奸，○ **輸納稅糧**，稅糧國家命脈，實係生民膏脂，徵科輸納，一毫不敢過取，○ **那移完納**，錢糧雖曰當出當入，理法必須正收正支，那移完納，玩法欺公，那移支放，懷奸作弊，○ **虛出通關硃票**，貨財民生脂膏，積貯天下大命，欲府庫之充實，在出納之得人，官豪虛出通關硃票，實為監守自盜，○某不知畏法，于上惟事欺瞞，不知革弊，于下專圖賄賂，無而為有，虛出通關，寡而為多，偽標硃票，監守自盜，律法難容，○ **庫秤僱役侵欺**，設倉庫，所以儲蓄錢糧，僉斗庫，所以嚴防盜賊，奸猾私竊侵欺，擅自那移借貸，○貓鼠相眠，通同作弊，鸛蚌相視，覺察舉呈，那借以為故常，侵欺以為無害，○ **收支留難**，錢糧收支，自有定制，有司出納，必有定期，訪惡刁蹬，留難羈遲，深為民害，○ **盜賣田宅**，民有居室，世業相傳，國有徵輸，版圖是貢，物既有常，豈應盜賣，○不顧欺公，惟圖利己，移坵換段，不循禹甸之規，以舊作新，妄指宋高之宅，土宇版章，國何輸也，出作入息，民何賴焉，○ **重復田土**，先典私賣，准折倍還，復買復賣，情真契實，得受實價，○ **田產**，天地之間，物各有主，欺孤吞弱，理法何容，○田土稅糧為主，業被混占，錢糧虛納，既稱故田，豈無賣主，○ **典賣田宅**，某貪心四起，奸計百端，不稅契書，欲使朦朧，照證不收冊籍，復圖隱蔽錢糧，○山雖可棄，祖骨難拋，柴木衣毛，豈堪斷剝，○灌塘灌溉禾苗，充民渴望，奸豪旁占塘業，損陷衆民，○塘稅均納，水利當勻，恃強欺弱霸截，何甘，○世今古路，通衆往來，奸雄枉法，閉塞難容，○生財大道，為富不仁，違禁取息，法所難容，○勢豪嗜利，加倍剝民，割肉醫瘡，經年不了，負債傭身顧口，卒歲難免饑寒，○ **受寄財物**，人以信誠為本，物以行正為先，苟且騙財，是為竊用，封

寄財物，豈容擅費，物受附寄，托心為義，（本条は【6-7】に既出。混入したものと思われる）○**擅食瓜果**，某慣習踰牆鑽穴，不嫌納履整冠，隱鼠首而齒瓜，掉猿臂而摘果，種作艱難，豈容盜竊，○瓜田納履，君子不為，李下整冠，達人所忌，種瓜栽果，養贍稅糧，苦力勞心，豈宜擅取，○**棄毀器物**，器物稼穡樹木，人民藉以聊生，逆心害物棄毀，抗法欺公，何忍，

*『萬書萃寶』錢債田產類

- a **欺隱田糧**，欺隱錢糧，脫隱版籍，虧損正稅，雖尹鐸之保障，亦所不容，減耗軍需，雖白圭之貉道，亦所當究，用奎其弊，以懲其奸，
- b **輸納稅糧**，稅糧國家命脈，實係生民膏脂，徵科輸納，一毫不敢過取，
- c **那移完納**，錢糧雖曰當出當入，理法必須，正收正支，那移完納，玩法欺公，那移支放，懷奸作弊，
- d **虛出通關硃票**，貨財民生脂膏，積貯天下大命，欲府庫之充實，在出納之得人，官豪虛出通關硃票，實為監守自盜，
- e 某不知畏法，于上惟事欺瞞，罔能革弊，於下專圖賄賂，無而為有，虛出通關，寡而為多，偽標硃票，
- f **庫秤僱役侵欺**，設倉庫，所以儲蓄錢糧，僉斗庫，所以嚴防盜賊，奸猾私竊侵欺，擅自那移借貸，
- h **收支留難**，錢糧收支，自有定制，有司出納，必有定期，訪惡刁蹬，留難羈遲，深為民害，
- i **盜賣田宅**，民有居室，世業相傳，國有徵輸，版圖是貢，物既有常，豈應盜賣，
- k **重復田土**，先典私賣，准折倍還，復買復賣，情實契真，得受正價，
- l **田產**，田土稅糧為主，業被混占，錢糧虛納，冤屈難伸，欺孤吞弱，理法安容，
- n **典賣田宅**，某貪心四起，奸計百端，不稅契書，欲使朦朧，（照管）不收冊籍，復圖隱蔽錢糧，

- o 盜砍墳樹，山雖可棄，祖骨難拋，樹木衣毛，豈堪斷剝，
- q 蔭灌水利，塘稅均納，水利當勻，恃強欺弱，霸截何甘，
- r 閉塞道途，世今古路，通衆往來，奸雄枉法，閉塞難容，
- s 違禁取利，生財大道，為富不仁，違禁取利，法所難容，
- u 擅食菓？瓜，某慣習踰牆鑽穴，不嫌納履整冠，隱鼠首而齒瓜，揮猿臂而摘果，種作艱難，豈容盜竊，
- w 棄毀器物，器物稼穡樹木，人民藉以聊生，逆心害物棄毀，抗法欺公何忍，
- *『五車拔錦』錢債田產類
- a 欺隱田糧，欺隱錢糧，脫隱版籍，虧損正稅，雖尹鐸之保障，亦所不容，減耗軍需，雖白圭之貉道，亦所當究，用舉其弊，以懲其奸，
- b 輸納稅糧，稅糧國家命脈，實係生民膏脂，徵科輸納，一毫不敢過取，
- c 那移完納，錢糧雖曰當出當入，理法必須，正收正支，那移完納，玩法欺公，那移支放，懷奸作弊，
- d 虛出通關硃票，貨財民生脂膏，積貯天下大命，欲府庫之充實，在出納之得人，官豪虛出通關硃票，實為監守自盜，
- e 某不知畏法，于上惟事欺瞞，不知革弊，于下專圖賄賂，無而為有，虛出通關，寡而為多，偽標硃票，監守自盜，律法難容，
- f 庫秤僱役侵欺，設倉庫，所以儲蓄錢糧，僉斗庫，所以嚴防盜賊，奸猾私竊侵欺，擅自那移借貸，
- g 貓鼠相眠，通同作弊，鸛蚌相視，各自操奸，那借以為故常，侵欺以為無害，
- h 收支留難，錢糧收支，自有定制，有司出納，必有定期，訪惡刁蹬，留難羈遲，深為民害，
- i 盜賣田宅，民有居室，世業相傳，國有徵輸，版圖是貢，物既有常，豈應盜賣，

j 不顧欺公，惟圖利己，移坵換段，不循禹甸之規，以舊作新，妄指宋高之宅，土宇版章，国何輸也，出
作入息，民何賴焉，

k **重復田土**，先典私賣，准折倍還，復買復賣，情真契實，得受實價，

l **田產**，天地之間，物各有主，欺孤吞弱，理法何容，

*『學海群玉』錢債田產類「後段」

a **欺隱田糧**，欺隱錢糧，脫隱版籍，虧損正稅，雖尹鐸之保障，亦所不容，減耗軍需，雖白圭之貉道，
亦所當究，用舉其弊，以懲其奸，

b **輸納稅糧**，稅糧国家命脈，實係生民膏脂，徵科輸納，一毫不敢過取，

c **那移完納**，錢糧雖曰當出當入，理法必湏，正收正支，那移完納，玩法欺公，那移支放，懷奸作弊，

d **虛出通關硃票**，貨財民生脂膏，積貯天下大命，欲府庫之充實，在出納之得人，官豪虛出通關硃票，
實為監守自盜，

e 某不知畏法，于上惟事欺瞞，不知革弊，于下專圖賄賂，無而為有，虛出通關，寡而為多，偽標硃
票，監守自盜，律法難容，

f **庫秤僱役侵欺**，設倉庫，所以儲蓄錢糧，僉斗庫，所以嚴防盜賊，奸猾私竊侵欺，擅自那移借貸，

g 貓鼠相眠，通同作弊，鷸蚌相見，覺察舉呈，那借以為故常，侵欺以為無害，

h **收支留難**，錢糧收支，自有定制，有司出納，必有定期，訪惡刁蹬，留難羈遲，深為民害，

i **盜賣田宅**，民有居室，世業相傳，国有徵輸，版圖是貢，物既有常，豈應盜賣，

j 不顧欺公，惟圖利己，移坵換段，不循禹甸之規，以舊作新，妄指宋高之宅，土宇版章，国何輸也，出
作入息，民何賴焉，

- k **重復田土**，先典私賣，准折倍還，復買復賣，情真契實，得受實價，
- l **田產**，天地之間，物各有主，欺孤吞弱，理法何容，
- m 田土稅糧為主，業被混占，錢糧虛納，既稱故田，豈無賣主，
- n **典買田宅**，某貪心四起，奸計百端，不稅契書，欲使朦朧，照證不收籍冊，復圖隱蔽錢糧，
- o 山雖可棄，祖骨難拋，柴木衣毛，豈可斷剝，
- p 灌塘灌溉禾苗，充民渴望，奸豪勞占塘舉，損陷眾民，
- q 塘稅均納，水利當勻，恃強欺弱，霸截何甘，
- r 世今古路，通眾往來，奸雄枉法，閉塞難容，
- s 生財大道，為富不仁，違禁取息，法所難容，
- t 勢豪嗜利，加倍剝民，割肉醫瘡，經年不了，負債傭身顧口，卒歲難免飢寒，
- u **擅食瓜果**，某慣習踰牆鑽穴，不嫌納履整冠，隱鼠首而齒瓜，掉猿臂而摘果，種作艱難，豈容盜竊，
- v 瓜田納履，君子不為，李下整冠，達人所忌，種瓜栽果，養贍稅糧，苦力勞心，豈宜擅取，
- w **棄毀器物**，器物稼穡樹木，人民藉以聊生，逆心害物棄毀，抗法欺公何忍，
- *『萬書萃錦』錢債田土類
- a **欺隱田糧**，欺隱錢糧，脫隱版籍，虧損正稅，雖尹鐸之保障，亦所不容，減耗軍需，雖白圭之貉道，亦所當究，用舉其弊，以懲其奸，
- b **輸納稅糧**，稅糧國家命脈，實係生民膏脂，徵科輸納，一毫不敢過取，
- c **那移完納**，錢糧雖曰當出當入，理法必湏，正收正支，那移完納，玩法欺公，那移支放，懷好作弊，
- d **虛出通關硃票**，貨財民生脂膏，積貯天下大命，欲府庫之充實，在出納之得人，官豪虛出通關硃票，實為監守自盜，

e 某不知畏法，于上惟事欺瞞，罔能革弊，於下專圖賄賂，無而為有，虛出通關，寡而為多，偽標硃票，

f 庫秤僱后侵欺，設倉庫，所以儲蓄錢糧，僉斗庫，所以嚴防盜賊，奸猾私竊侵欺，擅自那移借貸，

h 收支留難，錢糧支收，自有定制，有司出納，必有定期，訪惡刁蹬，留難羈遲，深為民害，

i 盜賣田宅，民有居室，世業相傳，国有徵輸，版圖是貢，物既有常，豈應盜賣，

k 重復田土，先典私賣，准折倍還，復買復賣，情真契實，得受正價，

m 田產，田土稅糧為主，業被混占，錢糧虛納，冤屈難伸，欺孤吞弱，理法難容，

n 典買田宅，某貪心四起，奸計百端，不稅契書，欲使朦朧，照管不收冊籍，復圖隱蔽錢糧，

o 盜砍墳樹，山雖可棄，祖骨難拋，樹木依蔭，豈堪斷剝，

q 陰灌水利，塘稅均納，水利當勻，恃強欺弱，霸截何甘，

r 閉塞道路，世今古路，通衆往來，奸雄枉法，閉塞安容，

s 違禁取利，生財大道，為富不仁，違禁取利，理法難容，

t 勢豪嗜利，加倍剝民，割肉醫瘡，經年不了，負債傭身顧口，卒歲難免飢寒，

u 擅食菓瓜，某慣習踰牆鑽穴，不嫌納履整冠，隱鼠首而齒瓜，揮猿臂而摘果，種作艱難，豈容盜竊，

w 棄毀器物，器物稼穡樹木，人民藉以聊生，逆心害物棄毀，抗法欺公何忍，

*『全書備考』錢債田產類

s 生財有道，為富不仁，違禁取利，法所難容，

*『積玉全書』錢債田土類

a 欺隱田糧，欺隱錢糧，脫隱版籍，虧損正稅，雖尹鐸之保障，亦所不容，減脫軍需，雖白圭之貉道，亦所當究，用舉其弊，以懲其奸，

- b 輸納稅糧，稅糧國家命脈，實係生民膏脂，徵科輸納，一毫不可過取，
- c 那移完納，錢糧雖曰當出當入，理法必湏，正收正支，那移完納，玩法欺公，那移支放，懷奸作弊，
- d 虛出通關硃票，貨財民生脂膏，積貯天下大命，欲府庫之充實，在出納之得人，官豪虛出通關硃票，實為監守自盜，
- e 某不知畏法，于上惟事欺瞞，罔能革弊，于下專圖賄賂，無而為有，虛出通關，寡而為多，偽標硃票，監守自盜，律法難容，
- f 庫秤僱後侵欺，設倉庫，所以儲蓄錢糧，僉計庫，所以嚴防盜賊，奸猾私竊侵欺，擅自那移借貸，
- h 收支留難，錢糧支收，自有定制，有司出納，必有定期，訪惡刁蹬，留難羈遲，深為民害，
- i 盜賣田宅，民有居室，世業相傳，國有徵輸，版圖是貢，物既有常，豈應盜賣，
- k 重復田土，先典私賣，准折倍還，復買復賣，情真契實，得受正價，
- m 田產，田土稅糧為上，業被混沌，錢糧虛納，冤屈難伸，欺孤吞弱，理法難容，
- n 典買田宅，某貪心四出，奸計百端，不稅契書，欲使朦朧，照管不收冊籍，復圖隱蔽錢糧，
- o 盜砍墳樹，山雖可棄，祖骨難拋，樹木依蔭，豈堪斷剝，
- q 陰灌水利，塘稅均納，水利當勻，恃強充弱，霸截何堪，
- r 閉塞道路，古今道路，通衆往來，奸容枉法，閉塞安容，
- s 違禁取利，生財大道，為富不仁，違禁取利，理法難容，
- u 盜食瓜果，某慣習踰牆鑽穴，不嫌納履整冠，隱鼠首而齒瓜，揮猿臂而摘果，種作艱難，豈容盜竊，
- w 棄毀器物，器物稼穡樹木，人民藉以聊生，逆心害物棄毀，抗法欺公何忍，

【復元】

- a 欺隱田糧^①，欺隱錢糧，脫隱版籍，虧損正稅，雖尹鐸之保障^②，亦所不容，減耗軍需，

雖白圭之貉道^③，亦所當究，用舉其弊，以懲其奸，

b 輸納稅糧^④，稅糧國家命脈，實係生民膏脂，徵科輸納，一毫不敢過取，

c 那移完納^⑤，錢糧雖曰當出當入，理法必須，正收正支，那移完納，玩法欺公，那移支放，懷奸作弊，

d 虛出通關硃票^⑥，貨財民生脂膏，積貯天下大命，欲府庫之充實，在出納之得人，官豪虛出通關硃票，實為監守自盜，

e 某不知畏法，于上惟事欺瞞，不知革弊，于下專圖賄賂，無而為有，虛出通關，寡而為多，偽標硃票，監守自盜，律法難容，

f 庫秤^⑦僱役^⑧侵欺，設倉庫，所以儲蓄錢糧，僉斗庫^⑨，所以嚴防盜賊，奸猾私竊侵欺，擅自那移借貸，

g 貓鼠相眠，通同作弊，鷸蚌相視，各自操奸，那借以為故常，侵欺以為無害，

h 收支留難^⑩，錢糧收支，自有定制，有司出納，必有定期，訪惡刁蹬^⑪，留難羈連，深為民害，

i 盜賣田宅^⑫，民有居室，世業相傳，國有徵輸，版圖是貢，物既有常，豈應盜賣，

j 不顧欺公，惟圖利己，移坵換段，不循禹甸之規，以舊作新，妄指宋高之宅，土宇版章^⑬，國何輸也，出作入息^⑭，民何賴焉，

k 重復田土^⑮，先典私賣，准折倍還，復買復賣，情真契實，得受實價，

l 田產^⑯，天地之間，物各有主，欺孤吞弱，理法何容，

m 田產，田土稅糧為主，業被混占，錢糧虛納，冤屈難伸，欺孤吞弱，理法安容，

- n 典賣田宅^⑰，某貪心四起，奸計百端，不稅契書，欲使朦朧，照管不收冊籍，復圖隱蔽錢糧，
- o 盜砍墳樹^⑱，山雖可棄，祖骨難拋，樹木衣毛，豈堪斷剝，
- p 灌塘灌溉禾苗，充民渴望，奸豪勞占塘舉，損陷眾民，
- q 陰灌水利^⑲，塘稅均納，水利當勻，恃強欺弱，霸截何甘，
- r 閉塞道途，世今古路，通眾往來，奸雄枉法，閉塞難容，
- s 違禁取利，生財大道^⑳，為富不仁^㉑，違禁取利，法所難容，
- t 勢豪嗜利，加倍剝民，割肉醫瘡，經年不了，負債備身顧口，卒歲難免飢寒，
- u 擅食果瓜^㉒，某慣習踰牆鑽穴，不嫌納履整冠，隱鼠首而齒瓜，揮猿臂而摘果，種作艱難，豈容盜竊，
- v 瓜田納履，君子不為，李下整冠，達人所忌，種瓜栽果，養贍稅糧，苦力勞心，豈宜擅取，
- w 棄毀器物^㉓，器物稼穡樹木，人民藉以聊生，虐心害物棄毀，抗法欺公何忍，

【語彙解】

- ① 「欺隱田糧」：『大明律』戶律二に規定がある。
- ② 「尹鐸之保障」：『国語』晋語「趙簡子使尹鐸為晉陽、請曰、以為繭絲乎、抑為保鄣乎、簡子曰、保鄣哉、尹鐸損其戶數、簡子誠襄子曰、晉國有難、而無以尹鐸為少、無以晉陽為遠、必以為歸」。韋氏解「繭絲賦稅、保鄣蔽扞、小城曰保、禮記曰、遇入保者」。
- ③ 「白圭之貉道」：『孟子』告子・上「白圭曰、吾欲二十而取一何如、孟子曰、子之道貉道也」。趙岐注「貉，夷貉之人在荒服者也。」
- ④ 「輸納稅糧」：『大明律』戶律二「檢踏災傷田糧」の規定にかかわる問題であろう。

- ⑤ 「那移完納」：『大明律』戸律四に「那移出納」の規定がある。
- ⑥ 「虚出通關硃票」：『国字解』222「通関と云は年貢を納て皆済したるとき、倉庫よりうけとりの切手を出すを云なり。...又総高の内を幾切にも納るを、度々にうけとりを出すを硃鈔と云。これは硃批照票とて、短き紙に硃にてかきてわたすなり。虚出と云は、右の通関も硃鈔もとくとくと、其納たる員数ほどづつの切手を出すべきことなるに、納め物もいまだすまぬ内に、切手をさきへ渡を虚出と云」『大明律』戸律四「凡倉庫收受一応係官錢糧等物、不足而監臨主守通同有司提調官吏、虚出通関者、...皆以監守自盜論」。
- ⑦ 「庫秤」：『国字解』228「倉庫のくらに居るてんびんふりの吏なり」
- ⑧ 「僱役」：『国字解』653「やとひ人なり」、同228「僱役之人」＝「やとはれたる人足なり」
- ⑨ 「僉斗庫」：『国字解』636「僉解」に「僉は名をしるすことなり。送る人の名を文書にかきのせて送るなるべし」。同739「僉点」に「人ざしして其人を呼出し申し付けることなり」。同769「僉到」に「さして来たと云ことなり」。ここから、「僉」は名前を呼びあげて点検するという意味に解した。また、「斗庫」は「斗子・庫子」を指すと思われるが、計量と倉庫を担当する衙役であろう。『石山』「斗子」：「小吏・雇員ナドノ職」。同「庫人」：「倉庫係ノ役人」。『六部』戸部「斗級」：「掌量斗之官役也」
- ⑩ 「収支留難」：『大明律』戸律四に規定がある。「留難」：『国字解』232「しぶらかすなり」、同277「しぶらす」。『六部』「倉役索賄、阻留作難、不肯發米也」
- ⑪ 「刁蹬」：『国字解』232「なにのかのと六借しくやんちゃんをいふて埒を明けぬことなり」。『六部』「刁狡也、蹬推也、兵丁狡詐假米劣、不肯領受也」。
- ⑫ 「盜賣田宅」：『大明律』戸律二に規定がある。
- ⑬ 「版章」：『漢詞』「帳簿。亦借指登記在簿冊上の財物」
- ⑭ 「出作入息」：『莊子』雜篇讓王「舜以天下讓善卷，善卷曰、余立於宇宙之中，冬日衣皮毛，夏日衣葛絺、春耕種，形足以勞動、秋收斂、身足以休食、日出而作，日入而息、逍遙於天地之間、而心意自得。吾何以天下爲哉、悲夫，子之不知余也、遂不受、...」
- ⑮ 「重復田土」：『大明律』戸律二「典賣田宅」の規定に次のようにある。「若將已典賣與人田宅、朦朧重復典賣者、以所得價錢計贓、准竊盜論免刺、追價還主、...」。『国字解』192「重復典賣とは、二重

にしちにとることなり」。

- ⑩ 「田産」：『国字解』190「田地に限らず、其外すぎわいになる山場・湖泊・茶園・蘆蕩のるいなり」。
- ⑪ 「典賣田宅」：『大明律』戸律二に規定がある。『国字解』441「...田宅をしちにをき、又うることあるものなり。...」
- ⑫ 「盜砍墳樹」：『大明律』刑律一に「盜園陵樹木」の規定がある。
- ⑬ 「蔭灌水利」：該当する律文は未詳であるが、『大明律』工律二に「盜決河防」の規定がある。
- ⑭ 「大道生財」：『中日』「正しい道筋をふんで金をもうける」
- ⑮ 「為富不仁」：『中日』「富を作るには仁慈ではできない」
- ⑯ 「擅食果瓜」：該当する律文は未詳であるが、『大明律』刑律一に「盜田野穀麥」の規定がある。
- ⑰ 「棄毀器物」：『大明律』戸律二に「棄毀器物稼穡」の規定がある。

【現代語訳】

- a 田糧を欺いて隠す 錢糧を欺いて隠し、土地台帳と戸籍をごまかしている。正税を納めないのは、尹鐸が民を「保障」としたとしても許されないことである。軍需物資の徴収を軽減するのは白圭の例があるとしても考究すべきである。その弊害をあげて悪事を懲らしめるべきである。
- b 税糧を納める 税糧は国家の命脈であり、まことに民の汗と脂である。税役の徴収はわずかでも規定額を越えてはいけない。
- c 項目を移し替えて税糧を完納する 錢糧は正当に納入、支出すべきだと言われるが、天理と国法に従い、正しく出入すべきである。項目を移し替えて完納するのは法をごまかし、公を欺くものであり、同じ手法で支出するのは悪意による不正である。
- d 通関・硃票をでたらめに下付する 貨財は民の汗と脂であり、蓄積は天下の大命である。府庫を充実させたいなら出納担当者に人を得なければならない。官豪（官に通じた豪民）が通関・硃票をでたらめに下付するというのは、まことに「監守自盜」の犯罪である。
- e 某は法を畏れることを知らず、上においてはただごまかしを事としている。不正を改めることを知らず、下においてはもっぱら賄賂を差し出している。無いものを有るとして通関をでたらめに下付し、少ない額を多くして硃票を通してしている。こうした「監守自盜」は、法律では許し難いものである。
- f 庫秤・僱役がごまかす 倉庫を設置するのは錢糧を蓄えるためであり、斗子・庫子を名

指しで点検するのは厳に盗賊に備えるためである。悪人がひそかに（倉庫に）手をつけ、ほしいままに（名目を）付け替えて貸借している。

- g 猫と鼠と一緒に寝ているように、通じあって不正をおこなっている。鵲と蚌が監視しあっているように、それぞれが悪人を動かしている。やりくりして貸借するのを普通のこととし、ごまかしても害はないとする。
- h 収受、支給の遅滞 錢糧の収受、支給にはおのずから決まりがあり、関係当局の出納には期限がある。悪党を訪ねてごねさせ、遅滞して引き延ばすことは民の大きな害悪になっている。
- i 田宅を盗んで売る 民には家があり、代々土地を伝えている。国家は徴収をおこない、領域内は貢納する。物には所有者がある以上、盗んで売るなどすべきではない。
- j 公を欺くことなど顧みず、ただ己の利益のみをはかる。所有地をあちこちに動かし、禹以来の本来の境域を守らない。古いものを新しいとし、みだりに宋の高宗の屋敷だという。国土の財物を国家は徴収できなくなるし、日々の生業にいそしむ際に、民は頼りにするものがなくなるのだ。
- k 農地を二重取りする 先に質入れした土地を勝手に売り、借金のかたに倍返しさせ、売買を繰り返す。事情も契約書も真実で、実際の価格を手に入れている。
- l 田産 天地の間の物にはすべて所有者がいる。孤児や弱者を欺いて取りあげるなど天理と国法は決して許さない。
- m 田産 田土は税糧が主体であるのに所有権が混乱させられている。錢糧はごまかして納入され、恨みを訴えるすべがない。孤児や弱者を欺いて（土地を）取りあげるなど、天理と国法は決して許さないことだ。
- n 土地・屋敷を典売する 某は貪欲な心を起こし、あれこれ計略を巡らせた。契約の税を納めず、あいまいにごまかそうとした。証に照らして黄冊に収められていない錢糧の隠蔽をもくろんだ。
- o 墳墓の木を盗伐する 墓山は廃棄することができても祖先の遺骨は放置できない。樹木は衣服であって剥がすことなどできないのだ。
- p 塘の水は作物に灌漑するためのもので、民が待ち望むものである。豪民は塘を占拠し、多くの民に損害を与えている。
- q 灌漑用の水利 塘税は平等に納め、水利は平等にすべきである。強さを恃んで弱者をあざむき、水利を独占するような横暴に甘んじられようか。
- r 道路を閉ざす 古くからの道路は人々が往来している。悪人が法を枉げ閉ざしてしまうなど許しがたいことだ。
- s 禁令に反して利益を得る 金儲けは正しい道筋をふんでおこなうべきだが、仁慈では金持ちになれない。禁令に反して利息を得るのは法令の許し難いところである。
- t 豪民が利をむさぼり、いっそう民から搾取する。肉を切って傷を癒すと長年治らないように、負債によって身売りして食事にありついても、年中飢え凍えから逃れられない。
- u 勝手に果物を食べる 某は垣根を乗り越え、壁に穴をあけることに慣れており、瓜田に

靴を直し李下に冠を整えることをいとわぬ。鼠のように隠れて瓜をはみ、猿のように手を伸ばして果物を摘む。栽培は艱難を極めるものだから、果実の窃盗は許されることではないのだ。

- v 瓜田に靴を踏み入れる行為は、君子はおこなわない。李下で冠を直すのは道理に達している人の忌み嫌うところである。瓜を植え果物を栽培し、家族を養い税糧を納める。苦心と労力を尽くすのであり、ほしいままに取ることなどできるはずがない。
- w 器物を損壊する 器物・農事・樹木は、人民が生活するためのものである。残虐な心で器物を損壊するのは、法に抗い公を欺く行為であり、堪えられるものではない。

【原文】

【8-7】財本 朝廷設商，天下通行，攜本出外，覓利營家，今被蠱騙，情律難容，○以有易無，先王之制，因人任事，古者之常，商賈往來財貨，牙行鈐束交通，賊心奸詐，騙客任由，○某抱斗筭之器，舐刀錐之腥，估計不平，至增減乎物價，美惡雜監，用欺騙乎民財，○把持行市，買賣貴乎兩實，交易合宜和平，恃強把持，取利通同，販鬻僞價，作貴作賤，肆志長奸，

*『五車拔錦』財本類

- a 朝廷設商，天下通行，携本在外，覓利營家，今被蠱騙，情律難容，
- b 以有益無，先王之制，因人任事，古者之常，商賈往來財貨，牙行鈐束交通，賊心奸詐，騙客任由，
- c 受寄財物，人以仁誠為本，物以行正為先，封寄財物，豈容擅費，心懷奸險，法律何堪，

*『萬書萃寶』『萬書淵海』財本類

- a 商通天下，覓利營家，今遭蠱騙，情律難容
- c 受寄財物，封寄財物，豈應擅費，心懷奸險，法律何堪，
- d 私充牙行，估計不平，增減物價，美惡雜濫，欺騙民財，
- e 把持行市，買賣貴從兩實，交易合宜和平，恃強把持，兜利肥己，

*『五車萬寶全書』『萬書萃錦』『積玉全書』財本類

- a 商通天下，覓利營家，今遭[匡+馬]騙，情律難容，
- c 受寄財物，封寄財物，豈應擅費，心懷奸險，法律何堪，
- d 私充牙行，估價不平，增減物算，美惡雜濫，欺騙民財，
- e 把持[情?]行市，買賣湏從兩實，交易合宜和平，恃強把持，兜利肥己，

*『學海群玉』財本類

- a 朝廷設商，天下通行，携本出外，覓利營家，今被蠱騙，情律難容，
- b 以有易無，先王之制，因人任事，古者之常，商賈往來財貨，牙行鈐束交通，賊心奸詐，騙客任由，
- c 受寄財物，人以信誠為本，物以行正為先，封寄財物，豈容擅費，心懷奸險，法律何堪，
- d 私充牙行，某抱斗筭之器，舐刀碓之腥，估計不平，至增減乎物價，美惡雜濫，用欺騙乎民財，
- e 把持行市，買賣貴乎兩實，交易合宜和平，時強把持，取利通同，販鬻僞價，作貴作賤，肆志長刀，

*『全書備考』財本類

- a 商通天下，覓利營家，今遭蠱騙，情律難容，
- c 受寄財物，封寄財物，豈應擅費，心懷奸險，法律何堪，
- e 買賣貴處兩實，交易合宜和平，恃強把持，兜利肥己，

【復元】

- a 朝廷設商，天下通行，攜本出外，覓利營家，今被蠱騙，情律難容，
- b 以有易無^①，先王之制，因人任事，古者之常，商賈往來財貨，牙行鈐束交通，賊心奸詐，騙客任由，
- c 受寄財物^②，人以仁誠為本，物以行正為先，封寄財物，豈容擅費，心懷奸險，法律何堪，

(この例文は【6・7】に既出。文意から言えば本条に置かれるべきであろう。)

d **私充牙行**③，某抱斗筭之器④，舐刀錐之腥⑤，估計不平，至增減乎物價，美惡雜濫，用欺騙乎民財，

e **把持行市**⑥，買賣貴乎兩實，交易合宜和平，恃強把持，取利通同，販鬻僞價，作貴作賤，肆志長奸，

【語彙解】

① 「以有易無」：『孟子』公孫丑・下「古之爲市也、以其所有、易其所無者、有司者治之耳」

② 「受寄財物」：『大明律』戸律六に「費用受寄財産」の規定がある。

③ 「私充牙行」：『大明律』戸律七に「私充牙行埠頭」の規定がある。

④ 「斗筭之器」：『論語』子路篇「子曰、噫、斗筭之人、何足算也」

⑤ 「刀錐之腥」：未詳。

⑥ 「把持行市」：『大明律』戸律七に規定がある。

【現代語訳】

- a 朝廷は商人に天下の通行を認めており、(彼らは)資本を携えて出かけ、利益を求めて一家を養っている。いま(某は)騙りの被害に遭っており、人情・法律において許し難い。
- b 国内の富を平均化するのは先王の制度であり①、人材によって仕事を任せるのは古来通常のことである。商人は財貨を流通させ、牙行は流通を制御する。(某は)よこしまな心で偽り、ほしいままに商人を騙している。
- c **財物を預かる** 人間は真心を基本とし、物資(の取引)は不正をおこなわないのが第一である。財貨を預かったのに、ほしいままに消費するなど許されないことだ。悪意を持っては法が堪えられない。
- d **勝手に牙行になる** 某は取るに足りない人物であり、切り刻んだ肉をなめているような者だ。計量は正しくなく、価格を上げ下げしている。良品と不良品を区別せず、民の財貨をだまし取っている。
- e **市場を牛耳る** 売買は双方の利益を尊び、取引は穏やかにすべきである。(けれども某は)強さを笠にきて取引を牛耳り、利益を得るためにグルになり、価格を高くして売った。価格を操作して、わが意のままに悪事を助長しているのだ①。

《訳注》

① 後半の四句が「兜利肥己」とまとめている類書が多い。これを訳せば「利益を一人占めして自分の懐

を肥やしている」となる。

【原文】

【8-8】人命 人命関天地，聚兵関地方，事干重情，望天急救，○某素肆兇狼，不畏法規，視人命如草芥，覷骨肉如路人，忿氣圖財，殺人害命，○採生折割，某恣為盜賊之計，敢施折割之謀，分解人之肢骸，視若廁中之屍，[婁+刀]刷人之面目，譬如几上之豚，法律難容，冤慘黑地，○弓箭傷人，某弓箭妄射，至毀人之體膚，矢石乱投，誤中人之耳目，雖云偶爾有傷，實乃幾乎喪命，

*『萬書萃寶』人命類

- a 人命関天地，聚兵関地方，重情望天急救，
- b 某素肆兇狼，不畏法規，視人命如草芥，覷骨肉如路人，忿氣圖財，殺人害命，
- c 採生折割，某恣為盜賊之計，敢施折割之謀，分解人之肢骸，視若廁中之屍，[婁+刀]刷人之面目，譬如几上之豚，法律難容，冤慘黑地，
- d 弓箭傷人，某弓箭妄射，至毀人之體膚，矢石乱投，誤中人之耳目，雖云偶爾有傷，實乃幾乎喪命，

*『五車拔錦』人命類

- a 人命関天地，聚兵関地方，事干重情，望天急救，
- b 某素肆兇狼，不畏法規，視人命如草芥，覷骨肉如路人，忿氣圖財，殺人害命，
- c 採生折割，某恣為盜賊之計，敢施折割之謀，分解人之肢骸，視若廁中之屍，[婁+刀]刷人之面目，譬如几上之豚，法律難容，冤慘黑地，

*『萬書淵海』『學海群玉』『萬書萃錦』人命類

- a 人命関天地，聚兵関地方，重情望天急救，

- b 某素肆兇狼，不畏法規，視人命如草芥，覷骨肉如路人，忿氣圖財，殺人害命，
- c 採生折割，某恣為盜賊之計，敢施折割之謀，分解人之肢骸，視若廁中之屍，[婁+刀]刷人之面目，譬如几上之豚，法律難容，冤慘黑地，
- d 弓箭傷人，某弓箭妄射，至毀人之體膚，矢石亂投，誤中人之耳目，雖云偶爾有傷，實乃幾乎喪命，

*『全書備考』人命類

- b 某素肆兇狼，不畏法規，視人命如草芥，覷骨肉如弁髦，忿氣圖財，殺人害命，
- d 弓箭傷人，某弓矢妄射，至毀人之體膚，矢石亂打投，誤中人之耳目，雖云偶爾有傷，實乃幾乎喪命，

*『積玉全書』人命類

- a 人命關天，望天急救，
- b 某素肆兇狼，不畏法規，視人命如草芥，覷骨肉如路人，忿氣圖財，殺人害命，
- c 某恣為盜賊之計，敢施拆割之謀，分解人之肢体，視若廁中之屍，[婁+刀]刷人之面目，譬如机上之豚，法律難容，冤慘黑地，
- d 某弓箭妄射，至毀人之體膚，矢石亂投，誤中人之耳目，雖云偶爾有傷，實乃幾乎喪命，

【復元】

- a 人命關天地，聚兵關地方，事干重情，望天急救，
- b 某素肆兇狼，不畏法規，視人命如草芥，覷骨肉如路人，忿氣圖財，殺人害命，
- c 採生①折割②，某恣為盜賊之計，敢施折割之謀，分解人之肢骸，視若廁中之屍，[婁+刀]刷人之面目，譬如几上之豚，法律難容，冤慘黑地，
- d 弓箭傷人③，某弓箭妄射，至毀人之體膚，矢石亂投，誤中人之耳目，雖云偶爾有傷，實

乃幾乎喪命，

【語彙解】

- ① 「採生」：【7・8】に既出。〈補足〉『国字解』21「妖術にあることなり。生ながら人の胆をとりて、邪神を祀り、奇妙をする術あるなり」。
- ② 「採生折割」：直接該当する法は未詳。関連する律として『大明律』名例律・十惡の「不道」に「謂殺一家非死罪三人及支解人、若採生、造畜蟲毒魘魅」とある。
- ③ 「弓箭傷人」：『大明律』刑律二に規定がある。

【現代語訳】

- a 人命は天地に関わり、兵士の徴募は村方に関わる。事情は重大であり、天に向かって救いを求めたい。
- b 某はもとより凶暴で、法規を畏れない。人命を草や芥のごとくみなし、骨肉の人を他人の如く見ている。怒って財貨をねらい、人を殺害した。
- c 「採生」して肉体を解体する 某はほしいままに盜賊を企み、あえて解体の謀をなした。人の肉体をばらばらにし、厠の豚のごとくみなし、人の顔面をえぐり、たとえばお供え用の盆の上の豚のごとくである。法律では許しがたく、恨みと悲しみで真っ暗である。
- d 弓を射て人を傷つける 某はむやみに弓を射て、人を傷つけるに至った。やたらに矢や石を投げたところ、誤って人の耳や目に当たった。偶然傷つけたというけれども、危うく命に関わる場所であった。

【原文】

【8-9】**賊情** 巨寇若不速勦，小民難以安生，事關地方，非比細務，○強黨引類呼衆，屯聚郊野，鳴鑼哨指，劫掠鄉村，明火持鎗，殺害人命，強姦婦女，罪惡滔天，○強寇橫行鄉村，無不受害，動輒殺人放火，情慘昏天，○強賊聚衆，劫掠鄉村，殺人放火車擁，搜尋姦污，動地驚天，○**燒人房屋**，屋被燒毀，財被擄去，人被擄去，人被戮傷，欺法過天，其強太甚，

*『萬書萃寶』『萬書萃錦』賊情類

- a 巨寇若不速勦，小民難以安生，事關地方，非比細務，

b 強黨引類呼衆，屯聚郊野，鳴鑼哨指，劫掠鄉村，明火持鎗，殺害人命，淫姦婦女，罪惡滔天，

c 強寇橫行鄉村，莫不受害，動輒殺人放火，情慘昏天，

d 強賊聚衆，劫掠鄉村，殺人放火車擁，搜尋奸污，動地驚天，

e 燒人房屋，屋遭燒燬，擄掠一空，殺戮數命，欺法過天，強暴無敵，

*『五車拔錦』賊情類

a 巨寇若不速勦，小民難以安生，事關地方，非比細務，

b 強黨引類呼衆，屯聚郊野，鳴鑼哨指，劫掠鄉村，明火持鎗，殺害人命，淫姦婦女，罪惡滔天，

c 強寇橫行鄉村，無不受害，動輒殺人放火，情慘昏天，

*『學海群玉』賊情類

a 巨寇若不速勦，小民難以安生，事關地方，非比細務，

b 強黨引類呼衆，屯聚郊野，鳴鑼哨指，劫掠鄉村，明火持鎗，殺害人命，淫姦婦女，罪惡滔天，

c 強寇橫行鄉村，無不受害，動輒殺人放火，情慘昏天，

d 強賊聚衆，劫掠鄉村，殺人放火車擁，搜尋姦污，動地驚天，

e 燒人房屋，屋被燒毀，財被擄去，人被擄去，人被戮傷，欺法過天，其強太甚，

*『全書備考』賊情類

b 強黨引類呼衆，屯聚郊野，鳴鑼哨指，劫掠鄉村，明火持鎗，殺害人命，淫姦婦女，罪惡滔天，

d 強賊聚衆，劫掠鄉村，殺人放火車擁，搜尋姦污，動地驚天，

*『積玉全書』賊情類

a 巨寇若不速勦，小民難以安生，事關地方，非比細務，

b 強黨引類呼衆，屯聚郊野，鳴鑼哨指，劫掠鄉村，明火持鎗，殺害人命，淫姦婦女，罪惡滔天，

- c 強寇橫行鄉村，莫不受害，動輒殺人放火，情慘昏天，
- d 強賊聚衆，劫掠鄉村，殺人放火車擁，搜尋奸污，動地驚天，
- e 將屋燒燬，擄掠一空，殺戮數命，欺法欺天，強暴無敵，

【復元】

- a 巨寇若不速勦，小民難以安生，事關地方，非比細務，
- b 強黨引類呼眾，屯聚郊野，鳴鑼哨指，劫略鄉村，明火①持鎗，殺害人命，淫姦婦女，罪惡滔天，
- c 強寇橫行鄉村，無不受害，動輒殺人放火，情慘昏天，
- d 強賊聚眾，劫掠鄉村，殺人放火車擁②，搜尋奸污，動天驚地，
- e 燒人房屋③，屋遭燒燬，擄掠一空，殺戮數命，欺法過天，強暴無敵，
- e' 燒人房屋，屋被燒毀，財被擄去，人被戮傷，欺法過天，其強太甚，

【語彙解】

- ①「明火」：『六部』刑部・補遺「明火執仗」：「凡於夜間，公然膽敢持火自照，手執器仗，入人家搶劫者，謂之強盜」。
- ②「車擁」：【6-9】【7-1】に既出。「蜂擁」と通用されている。
- ③「燒人房屋」：『大明律』刑律九に「放火故燒人房屋」の規定がある。

【現代語訳】

- a 大賊をすみやかに討伐しなければ、小民は落ち着いていられない。事は村方の問題であり、細かな仕事というわけにはいかない。
- b 悪党が仲間を集めて、郊外に集まり、銅鑼を鳴らして口笛を吹き、村里を略奪した。炬火で照らし鉄砲を持って押し入り、人を殺し婦女を姦淫した。罪悪は天にあふれるほどである。
- c 大賊が村里に横行し、害を受けないものはなかった。ともすれば殺人や放火をはたらき、その惨状は天を暗くするほどである。

- d 大賊が仲間を集めて村里を強奪した。人を殺し、家に火を付け、大勢が群がり、家捜しして婦女を汚した。驚天動地の悪行である。
- e **人の家を焼く** 家は焼かれ、強奪されて空になり、数人の命を奪った。天に届くほど法を犯し、凶暴この上ない。
- e' **人の家を焼く** 家は焼かれ、財産は強奪され、人は殺傷された。天に届くほど法を犯し、凶暴なることあまりに甚だしい。

【原文】

【8-10】**吏書皂快** 恐嚇人財，故違法律，出入①人罪，情理何居，○權惡欺公侮法，作弊瞞官，抽詞搭案②，陷罪無天，○奸貪濫汚，科派③侵斂，枉法受贓，虐民害民，○倚勢恃刁，懷奸作弊，指官嚇騙，冤屈無伸，

*『五車拔錦』以下の3項目は『五車拔錦』にしか載せられていない。

- a 恐嚇人財，故違法律，出入人罪，情理何居，
- b 權惡欺公侮法，作弊瞞官，抽詞搭案，陷罪無天，
- c 奸貪濫汚，科派侵斂，枉法受贓，虐民害民，

【語彙解】

- ①「出入」：『国字解』54「...総じて律の詞に出入と云ことあり。出すとは、犯したる罪を犯さぬぶんにすることなり。入るとは、犯さぬ罪を犯したるにしなすことなり。是皆官人の私なり。吏典がわがあつかふ科人の罪を犯したるを明に知りながら、最賈か賂の子細によりて、罪を犯さぬぶんに取なしでゆるすを、故出人罪と云。...」
- ②「搭案」：未詳。『漢詞』に「搭」は「安放・置放」などの意とされるので、とりあえず「放置する」ととってみた。
- ③「科派」：【7-13】に既出。「科派」の誤りとして解釈する。

【現代語訳】

- a 人の財貨を奪い取り、ことさらに法律に違反している。人の罪を勝手に増減するなど、情理はいずこにあるのか。
- b 権勢ある悪党はお上を欺き法を侮り、官を騙して悪事をなしている。告訴状を抜き出したり、官文書を放置したりした。(人を)罪に陥れるさまは天をないがしろにするかの如くである。
- c (某は)悪事を働き、利を貪るならず者で、(負担を)割り当てて、強制的に徴収してい

る。法を枉げ、賄賂を受け取り、民を虐げ害している。

- d 威勢をかさに着てならず者を頼みとし、悪事を企んで不正をおこなっている。お上と称して脅し、だますので恨みを晴らすことができない。

【原文】

【8-11】告官 豺狼當道，雞犬弗寧，貪贓枉法，已失天朝立官之意，故違出入，夫豈王者刑戮之章，徇欲虐民，陷穽何辜，○居官以廉潔為主，守己以道義為先，某外飾公直，內懷貪婪，廣納貨賄，枉法受贓，汚弊不懲，貪風肆溢，

*『五車拔錦』

- a 豺很(狼?)當道，雞犬弗寧，貪贓枉法，已失天朝立官之意，故違出入，夫豈王者賞戮之章，徇欲虐民，陷穽何辜，
- b 居官以廉潔為主，守己以道義為先，某外飾公直，內懷貪婪，廣納貨賄，枉法受贓，汚弊不懲，貪風肆溢，

【現代語訳】

- a 豺狼が道を行けば鶏犬は騒ぎ立てる。(某は) 不正所得をむさぼり法を枉げ、もはや天朝が官制を定めた主意を失っている。ことさらに罪を増減させるなど、王者の刑罰のきまりがなくなっているのだ。欲望のままに民を虐げ、落とし穴にはめるとは何の罪があったのか。
- b 官位にあつては清廉潔白を旨とし、己の本分を守るには道義を第一とする。某は表向きは公直を装っているが、内心は貪婪である。多くの賄賂を懐に入れ、法を枉げ不正な所得を得ている。この腐敗を懲らしめなければ貪婪の風潮はますますはびこるであろう。

【原文】

【8-12】地方積年 恃刁設計，用言■人犯法，存心不善，罹罪①枉法害人，立意圖財，欺公利己，○刁奸健訟，捏告誣人，起滅欺公，違條越律，○某存心奸詐，狐假虎威，將無作有，千方慄懼乎人耳，捏小作大，百計嚇騙乎人財，大膽欺人，瞞天謊也，○奸徒計策，故陷良民，讒謗誣人，豈容造害，○刁徒拒補②，不服拘拿，抗法欺官，情難容恕，○補罪人

③、某應役受遣、互推托而不行、與惡爲援、且隱匿而不報、抗法違條、情何堪忍、○奸刁枉法、欺公逃避、若是隱情、不首恐發、貽累④相連、

＊『五車拔錦』

- a 恃刁設計、用言誘人犯法、存心不善、罹罪枉法害人、立意圖財、欺公利己、
- b 刁奸健訟、捏告誣人、起滅欺公、違條越律、
- c 某存心奸詐、狐假虎威、將無作有、千方悚懼乎人耳、捏小作大、百計嚇騙乎人財、大膽欺人、譜？
天謊也、
- d 奸徒計策、故陷良民、讒謗誣人、豈容造害、

【語彙解】

- ① 「罹罪」：『近代』「蒙受罪責」。
- ② 「拒捕」：『国字解』241「からめとるに手むかひをすることなり」。
- ③ 「■補罪人」：「追捕罪人」の誤りであろう。『大明律』刑律十に「應捕人追捕罪人」の規定がある。また「追捕」については『国字解』508に「からめとる」とある。
- ④ 「貽累」：『近代』「帶累、牽連」。

【現代語訳】

- a ずる賢さを恃みに計略を仕組み、言葉巧みに人を誘って法を犯させた。良からぬ了見で、罪責を受け、法を枉げ人に損害を与えた。財貨をねらって計略を立て、国家を欺き己の懷を肥やしたのである。
- b ずる賢く訴訟好きで、無実の罪をでっち上げて人に罪を着せた。初めから終わりまで国家を欺き、法律を無視した。
- c 某は腹黒い了見で、虎の威を借る狐である。無いものを有るとし、あの手この手で人の耳目を畏れさせ、小さいものを大きいとでっち上げ、百方手を尽くして人の財貨を脅し取った。大胆に人を欺き、天をも欺いたのである。
- d 悪党が計略を練り、良民を陥れた。人を罵り無実の罪に陥れるなど、損害を与えることなど許されるものではないのだ。
- e 悪党が逮捕時に手向かい、おとなしくしなかった。法に抗い官を欺くなど情状は許しがたい。
- f 罪人を追捕？する 某は役に充てられて派遣されたが、事にかこつけて断り、現地に行かなかった。悪党と結託し、そのうえ（こやつは）匿って報告しなかった。法に抗い違反しているのであり、人情の耐えられるところではない。
- g ずる賢く法を曲げ、国家を欺き逃走した。このように事情を隠蔽して、自首せず発覚を

恐れているのであれば、迷惑な事態が続くであろう。

【9】 結段

【9-1】富豪 冒死懇天，勦除強惡，民得安生，陰驚萬代，望光上告，○告向青天，與民作主，勦虎劈弊，塗約除冤，○伏乞准理，祛惡除奸，深為恩便，老幼感恩，激切奔告，

*『萬書萃寶』土豪類

- a 冒死懇天，芟除強暴，民得聊生，望光上告，
- b 籲天作主，勦虎劈弊，迫切上告，
- d 俯怜准理，祛惡安善，感激哭告，

*『五車拔錦』土豪類

- a 冒死懇天，勦除強思，民得安生，陰驚萬代，投光上告，
- b 告向青天，與民作主，勦虎劈■，塗約除冤，
- c 伏乞埋埋[理理?]，祛惡除奸，深為恩便，老幼感恩，激切奔告，

*『萬書淵海』『五車萬寶全書』『萬書萃錦』土豪類

- a 冒死懇天，芟除強暴，民得聊生，望光上告，
- b 籲天作主，勦虎劈弊，迫切上告，
- d 俯怜准理，祛惡安善，感激哭告，

*『學海群玉』土豪類

- a 冒死懇天，勦除強惡，民得安生，陰驚萬代，投光上告，
- b 告向青天，與民作主，勦虎劈誣，塗約除冤，
- c 伏乞准理，祛惡除奸，深為恩便，老幼感恩，激切奔告，

＊『全書備考』土豪類

- a 冒死懇天，芟除強暴，民得聊生，望光上告，
- b 籲天作主，勦虎劈弊，迫切上告，
- d 俯憐惟理，祛惡安善，感激哭告，

＊『積玉全書』土豪類

- a 冒死懇天，芟除強暴，民得聊生，望光上告，
- b 籲天作主，勦虎劈弊，迫切上告，
- d 俯憐惟理，祛惡扶善，感激哭告，

【復元】

- a 冒死懇天，勦除強惡，民得安生，陰鷲萬代，望光上告，
- b 告向青天①，與民作主②，勦虎劈弊，塗約除冤，
- c 伏乞准理，祛惡除奸，深為恩便，老幼感恩，激切奔告，
- d 俯憐准理，祛惡安善，感激哭告，

【語彙解】

- ① 「青天」：『中国歴史公文書解説辞典』（山越敏寛編、汲古書院、2004年）。「青天大人」＝「青天は万物を被覆す、即ち徳を頌する形容。本来は官名などを記すべきであるが、外国人などで官名が不明な場合仮に「青天」の二字を使う」。『近代』「対公正廉明、為民伸冤的官兒的頌称」。

- ② 「作主」：『石山』「自分ノ意見ニテ処置スル」

【現代語訳】

- a 生命をかけてお願い申し上げる。凶悪なる勢力を打ち滅ぼし、民は安穩に暮らせることを。そうすれば陰徳が万代まで続くだろう。天を仰いで告訴する。
- b 青天に申し上げる。民のために進んで統治していただき、虎を除き偽りを取り去り、（違法な？）契約を抹消し、恨みを取りはらっていただきたい。
- c 伏して天理に従い、悪を取り去り邪なものを除いていただきたい。そうすれば深く恩を思い、老人も子供も恩を感じるだろう。激しく率直に告訴する。

d 下々を憐れみ、天理に従い、悪を除き善を安んぜんことを。心が激し泣いて告訴する。

【9-2】**關毆** 奔懇青天，垂救危亡，嚴整兇惡，仍令甘限，保辜醫治，免致臨危，難辨上告，○懇臺准理，急救危命，着醫治甘限保辜，臨卒難雪，哀切上告，

*『萬書萃寶』**關毆**類

a 哭懇天臺，垂救危亡，嚴整兇惡，乞令甘限保辜醫治，免致臨卒難，辨哀告，

b 懇天准理，急救危命，着令甘限醫治，恐卒冤黑難雪，哀切上告，

c **毆罵期親**，人倫頹敗，伏乞行拘懲治，

d 伏乞究治，民賴有法，

*『五車拔錦』**關毆**類

a 奔懇青天，垂救危亡，嚴整兇惡，仍令甘限保辜醫治，免致臨危難，辨上告，

b 懇臺准理，急救危命，着醫治，甘限保辜，臨卒難雪，哀切上告，

c **毆罵期親**，人倫頹敗，伏乞行拘懲治，

d 伏乞行治，宗持有化，

*『萬書淵海』**關毆**類

a 哭懇天臺，垂救危亡，嚴整兇惡，乞令甘限保辜醫治，免致臨卒難，辨哀告，

b 懇天准理，急救危命，着令甘限醫治，恐卒冤黑難雪，哀切上告，

c **毆罵期親**，人倫頹敗，伏乞行拘懲治，

d 伏乞究治，民賴有法，

*『學海群玉』**關毆**類

- a 奔懇青天，垂救危亡，嚴整兇惡，仍令甘限保辜醫治，免致臨危難，辨上告，
- b 懇臺准理，急救危命，着醫調治，甘保辜，臨卒難雪，哀切上告，
- c 毆罵期親，人倫頹敗，伏乞行拘懲治，
- d 伏乞行治，宗恃有化，

*『萬書萃錦』關毆類

- a 哭懇天臺，垂救危亡，嚴整兇惡，乞令甘限保辜醫治，免致臨卒，難辨哀告，
- b 懇天准理，急救危命，着令甘限醫治，恐卒冤黑難雪，哀切上告，
- c 毆辱期親，人倫頹敗，伏乞行拘懲治，
- d 伏乞究治，民賴有法，

*『全書備考』關毆類

- b 懇天准理，急救危命，着命甘限醫治，恐卒冤黑難雪，哀切上告，
- c 人倫頹敗，伏乞行拘懲治，

*『積玉全書』關毆類

- a 哭懇天臺，垂救危亡，嚴整兇惡，乞令甘限保辜醫治，免致臨卒，難辨哀告，
- b 懇天准理，急救兄命，着令甘限醫治，恐卒冤黑難雪，哀哀切告，
- c 毆辱期親 人倫頹敗，伏乞行拘懲治，
- d 伏乞究治，民賴有法，

【復元】

- a 哭懇天臺，垂救危亡，嚴整兇惡，仍令甘限，保辜①醫治，免致臨危，難辨哀告，
- b 懇天准理，急救危命，着令甘限醫治，恐卒冤黑難雪，哀切上告，

c **毆罵期親**②，人倫頹敗，伏乞行拘懲治，

d 伏乞行治，宗恃有化，

d' 伏乞究治，民賴有法，

【語彙解】

① 「保辜」：『国字解』413「保辜」「保辜限期」「打たれたる人を打たる人にあづけて療治をさする、是を保辜と云。それに二十日・三十日・五十日と云日ぎりあり。是を保辜限期と云、又辜限ともいふなり」。『東川』「保辜」：「其ノ罪ヲ保障スルノ意ニテ、刑ノ執行前受刑者ヲ引受クルヲイフ」、「保辜限」：「人ヲ傷害シタル場合、期限内ニ其被害者ノ死シタル時ハ賠償ノ責ニ任ズベク、若シ死ニ至ラザル時ハ其責任ヲ免ルルヲスクイフ」。『中日』「昔時、法廷で加害者が被害者の生命に対して一定期限を定めて保障を与え、もし期限内に死亡すれば加害者の罪を重くし、期限内に死ななかった場合には罪を軽くすること。保証する期間を〔保辜限〕という。

② 「毆罵期親」：『大明律』刑律三に「毆期親尊長」の規定がある。

【現代語訳】

a 涙ながらにお上に懇願する。生命の危難から救われ、兇悪な者どもを厳しく成敗されんことを。さらに**保辜**の期限を緩くして治療させ、生命の危機から脱せしめんことを乞う。厄介な一件を上告する。

b 天理に従い生命の危難から救われんことをお上に懇願する。**保辜**の期限を緩くして治療させてほしい。死ぬまで無実の罪を晴らすことができないことを恐れ、悲しんで上告する。

c **期親を殴り罵ること** 人倫の頹廢である。どうか逮捕して成敗されんことを。

d どうか成敗してほしい。宗族の秩序を保つには教化が必要である。

d' どうか追究して成敗してほしい。民は法治に頼っているのである。

【原文】

【9-3】**婚姻** 告乞懲究，以正綱常，以安風化，上告，○告乞准究斧断，給親與男完娶，庶不乖傷風化，亂法違條，哀鳴上告，○冒死奔告，伏乞正倫，以正卑序，庶無枉法，免致辜恩，○伏乞清判，庶免終身失配，依律斧断，免致趕逐，○告乞青天，霜威劈黨，憫憐榮獨，望乞批嚴，終身不嫁，存沒感恩，哭告，

*『萬書萃寶』婚姻類

- a 告乞懲究，以正綱常，上告，
- b 乞恩斧斷，給親與男完娶，肅清風化，激切哭告，
- d 冒死懇恩斧斷，庶免終身失配，不遭趕逐，上告，
- e 告乞青天公斷，憫伶羸獨，望乞批嚴，終身不嫁，存沒感恩，哭告，

*『五車拔錦』婚姻類

- a 告乞懲究，以正綱常，以安風化，上告，
- b 告乞准究斧斷，給親與男完娶，庶不乖傷風化，亂法違條，哀鳴上告，
- c 冒死奔告，伏乞正倫，以正卑序，庶無枉法，免致辜恩，
- d 伏乞清判，庶免終身失配，依律斧斷，免致趕逐，

*『萬書淵海』『萬書萃錦』婚姻類

- a 告乞懲究，以正綱常，上告，
- b 乞恩斧斷，給親與男完娶，肅清風化，激切哭告，
- d 冒死[†+猥]恩斧斷，庶免終身失配，不遭趕逐，上告，
- e 告乞青天公斷，憫伶羸獨，望乞批嚴，終身不嫁，存沒感恩，哭告，
- f 冒鉞叩臺，作主法正卑序，庶無枉法，泣告，

*『學海群玉』婚姻類

- a 告乞懲究，以正綱常，以安風化，上告，
- b 告乞准究斧斷，給親與男完娶，庶不乖傷風化，亂法違條，哀鳴上告，

- c 冒死奔告，伏乞正倫，以正卑序，庶無枉法，免致辜恩，
- d 伏乞清判，庶免終身失配，依律斧斷，免致趕逐，
- e 告乞青天，霜威劈黨，憫憐鶯獨，望乞批嚴，終身不嫁，存歿感恩，哀告，

*『全書備考』婚姻類

- a 告乞懲究，以正綱常，上告，
- d 冒死懇恩斧斷，庶免終身失配，不遭趕逐，上告，

*『積玉全書』婚姻類

- a 告乞懲究，以正綱常，上告，
- b 乞恩斧斷，給親與男完娶，肅清風化，激切哭告，
- d 冒死[†+狼]恩斧斷，庶免終身失配，不遭趕逐，上告，
- e 告乞青天公斷，憫憐鶯獨，望乞批嚴，終身不嫁，存沒感恩，哭告，
- f 冒鉞叩臺，作主救正倫序，庶無枉法，泣告，

【復元】

- a 告乞懲究，以正綱常，以安風化，上告，
- b 告乞准究斧斷，給親與男完娶^①，庶不乖傷風化，亂法違條，哀鳴上告，
- c 冒死奔告，伏乞正倫，以正卑序，庶無枉法，免致辜恩^②，
- d 伏乞清判，庶免終身失配，依律斧斷，免致趕逐^③，
- d' 冒死[†+狼]恩斧斷，庶免終身失配，不遭趕逐，上告，
- e 告乞青天，霜威劈黨，憫憐鶯獨，望乞批嚴，終身不嫁，存歿感恩，奔告，
- f 冒鉞叩臺，作主法正卑序，庶無枉法，泣告，

【語彙解】

- ① 「完娶」：『近代』「男子娶妻。猶完婚」。
- ② 「辜恩」：『近代』「忘棄人家給予自己的恩德」。
- ③ 「趕逐」：『国字解』456「をひだすなり」。

【現代語訳】

- a 告発して追究し懲らしめんことを乞う。そうして三綱五常の道徳を正し、安んじて教化を進められんことを。ここに上告する。
- b 告発して追究し、断罪する処置を許されんことを乞う。親族に息子を返し、婚姻が整います①ように。そうすれば教化を傷つけず、法律を乱すことがなくなるだろう。悲しみ叫んで上告する。
- c 死を恐れず告発する。伏して倫理を正し、長幼の序を正されんことを乞う。そうすれば法を曲げ、恩知らずになるのを免れるだろう。
- d 伏して清廉なる判決を乞う。そうすれば一生配偶者が不在の事態にならず、(悪人を) 法によって断罪し、(被害者が) 追放される事態にはならないだろう。
- d' 死を恐れず恩をもって断罪せられんことを。そうすれば一生配偶者が不在の事態にならず、被害者が) 追い出されることはないだろう。上告する。
- e お上に訴える。秋霜の如き威厳を持って悪党一味を退治し、寄る辺ない孤独な者を憐れまれんことを。厳しい処断を下し、一生一人身でいることがないようにすれば、生者も死者も恩を感じるだろう。まっしぐらに上告する。
- f 死刑をも顧みずお上に訴える。積極的に尊卑の序を正されんことを。そうすれば法を曲げることがなくなるだろう。涙ながらに訴える。

《訳注》

- ①原文は「完娶」である。後出【9-5】の「完娶」の誤りとも考えられる。ここでは「完娶」のままで訳出した。

【原文】

【9-4】姦情 懇告天臺，准提鞠究，以彰法紀，庶使風化，不致乖傷綱常，毋令敗壞，○切思，螻蟻尚知分秩，鴈鴻且■■■■■不以為重，法度甚是難容，鈞行正化，伏乞彰刑，勦奸除惡，正俗輔端，免致■■五常，頽壞風化，不顧人倫，

*『萬書萃寶』姦情類

- a 為乞天臺，准提鞠究，以彰法紀，上告，

- b 切思，螻蟻尚知分秩，鴈鴻且不失序，人倫不以為重，法度甚是難容，伏乞，勦除奸惡，正俗輔端，
免致傷敗五常，頽敗風化，不顧人倫，叩告，

*『五車拔錦』『學海群玉』姦情類

- a 懇告天臺，准提鞠究，以彰法紀，庶使風化，不致乖傷綱常，毋令敗壞，
b 切思，螻蟻尚知分秩，鴈鴻且不失序，人倫不以為重，法度甚是難容，鈞行正化，伏乞彰刑，勦奸除
惡，正俗輔端，免致傷敗五常，頽壞風化，不顧人倫，

*『萬書淵海』『萬書萃錦』『積玉全書』姦情類

- a 為乞天臺，准提鞠究，以彰法紀，上告，
b 切思，螻蟻尚知分秩，鴻鴈且不失序，人倫不以為重，法律甚是難容，伏乞，勦除奸惡，正俗輔端，
免致傷敗五常，頽敗風化，不顧人倫，叩告，

*『全書備考』姦情類

- a 為懇天臺，准提鞠究，以彰法紀，上告，
b 切思，螻蟻尚知分秩，鴻鴈且不失序，人倫不以為重，法度甚是難容，伏乞，勦除姦惡，正俗輔端，
免致傷壞五常，頽敗風化，不顧人倫，叩告，

【復元】

- a 懇告天臺，准提^①鞠究，以彰法紀，庶使風化，不致乖傷綱常，毋令敗壞，
b 切思，螻蟻尚知分秩，鴈鴻且不失序，人倫不以為重，法度甚是難容，鈞行正化，伏乞彰
刑，勦奸除惡，正俗輔端，免致傷敗五常，頽壞風化，不顧人倫，叩告，

【語彙解】

①「准提」：「提」は「提問」の意。『国字解』575「召よせて問罪するなり」。

【現代語訳】

- a 慎んでお上に申し上げる。召喚して追究することを許し、法律や規律を明らかに示されんことを。そうすれば感化して、三綱五常の道徳を傷つけることがなく、墮落させることがないだろう。
- b ひそかに思いますに、蟻や螻蛄でさえ秩序というものを知っており、雁の類でさえ序列を間違えない。人倫を重いものとみないのは、法律が認めないところである。均しく教化をおこなうべきである。伏して刑罰を明らかにし、悪人どもを除き去り、風俗を整え正しきを助けられんことを。そうすれば三綱五常の道徳を傷つけず、教化を墮落させず、人倫をないがしろにすることを免れるだろう。伏して告発する。

【原文】

【9-5】戸口 告乞仁天，作主追究，給還父子，重見■恩，再造上告，○具情哀哭乞賜，明彰結髮，伏判完聚，○告乞作主，行関拘■，復業服役，各得其所，免致貽累，○私枌庵
院，告乞行提，革息異端，免致左道，惑乱世俗，○告乞准提，以蘇民困，庶得超生，○備情奔告，乞賜牧养，甦活残生，庶毋失所，匍匐哀告，

*『萬書萃寶』『萬書萃錦』戸口類

- a 告乞投天，作主追究，給還父子，重見感恩，再造上告，
- b 具情哀[↑+狼]乞賜，明彰結髮，伏判完聚，
- c 乞賜関提，復業服役，各得其所，免致貽累，
- d 私枌庵宇，告乞行提，革息異端，免致左道，惑乱世俗，
- e 告乞准提，以蘇民困，庶得超生，
- f 備情奔告，乞賜牧养，甦活残生，庶失所倚叩告，

*『五車拔錦』戸口類

- a 告乞仁天，作主追究，給還父子，重見感恩，再造上告，
- b 具情哀哭，作主乞賜，明彰結髮，伏判犯聚，

c 告乞作主，行関拘提，復業服役，各得其所，免致胎累，

d 私勘庵院，告乞行提，革息異端，免致左道，惑乱世俗，

*『萬書淵海』戸口類 (a～c,e は『萬書萃寶』と同文)

d 私勘庵宇，告乞行提，革息異端，免致左道，惑亂世俗，

f 備情奔告，乞賜牧養，甦活殘生，庶失所倚，叩告，

*『五車萬寶全書』戸口類

a 告乞投天，作主追究，給還父子，重見感恩，再造上告，

b 具情哀[↑+狼]，乞賜明彰結髮，仗判完聚，

c 乞賜関提，復業服役，各得其所，免致胎累，

e 告乞准提，以蘇民困，庶得超生，

*『學海群玉』戸口類

a 告乞仁天，作主追究，給還父子，重見感恩，再造上告，

b 具情哀哭，作主乞賜，明彰結髮，伏判完聚，

c 告乞作主，行関拘提，復業服役，各得其所，免致胎累，

d 私勘庵院，告乞行提，革息異端，免致左道，惑乱世俗，

e 告乞准提，以蘇民困，庶得超生，

f 備情奔告，乞賜收養，甦活殘生，庶毋失所，匍匐哀告，

*『積玉全書』

a 告乞投天，作主追究，給還父子，重見感恩，再造上告，

b 具情哀[↑+狼]乞賜，明彰結髮，伏判完整，

- c 乞賜關提，復業服役，各得其所，免致貽累，
- d 私勅庵宇，告乞行提，革息異端，免致左道，惑亂世俗，
- e 告乞准提，以蘇民困，庶得超生，
- f 備情奔告，乞賜牧養，甦活殘生，庶失所倚叩告，

【復元】

- a 告乞仁天，作主追究，給還父子，重見感恩，再造①上告，
- b 具情哀哭，作主乞賜，明彰結髮②，伏判完聚③，
- c 告乞作主，行關④拘提⑤，復業服役，各得其所，免致貽累，
- d 私勅庵院⑥，告乞行提⑦，革息異端，免致左道，惑亂世俗，
- e 告乞准提，以蘇民困，庶得超生⑧，
- f 備情奔告，乞賜收養，甦活殘生，庶母失所，匍匐哀告，

【語彙解】

- ① 「再造」：『近代』「重生」。『中日』「恩同再造」に同じとし、「恩は再生の父母に同じ。命の親」とする。
- ② 「結髮」：『石山』「幼時ヨリノ意、又少年束髮ノ意」。『近代』「原配妻子」。
- ③ 「完聚」：『国字解』177「離散に対していふ」。『石山』「(二) 家族ノ一同ガ合居スルヲイフ。＜三＞夫婦トナルノ意」。『東川』「缺ヲ完ウシ離ヲ聚メテ旧態ニ復スルノ義。例セバ迷失ノ子女ヲ其実父母ノ許ニ還ラシメ、其家族ノ缺ヲ完ウシ旧態ニ復セシムル類ナリ」。『中日』「②家族が一箇所に集まる。家族だんらんする」
- ④ 「行關」：『漢詞』「發出関文」。『中国古典小説用語辞典』「移文他処地方官署、請其代爲捕捉逃亡於該地的民、刑事被告、叫『行關』」。
- ⑤ 「拘提」：『中日』「拘引する」。『石山』「提ゲ引キヅル」。『公文書』「捉えひきよせる。逮捕状を發して拘束する」。
- ⑦ 「私勅庵院」：【8・5】に既出。

⑧ 「行提」：『訓読吏文』「トリオサへ」。『石山』「引寄セル」。『公文書』「ひきよせ」。『近代』「提審」。

⑨ 「超生」：『中日』「生命を救う。助ける」

【現代語訳】

- a 仁なるお上に告発し、積極的に追究せられんことを。父子に返還すれば、重ねて恩への感謝をあらわすだろう。命の親であるお上に上告する。
- b 実情を書き連ねて涙ながらにお願いする。積極的に判決を賜らんことを。最初の妻を明記していただき①、どうか家族が団欒できる判決を下されますように。
- c 積極的に処理されるように告発する。関文を出して（逃亡者を？）拘引し、生業にもどして徭役に服させ、それぞれが生きる術を得られるように。そうすれば、災いの種を残さないだろう。
- d 勝手に庵院を創める 告発して追究されんことを乞う。異端の宗教を取り締まれば左道が世間を騒がせることはなくなるだろう。
- e 告発して、召喚・追究を許されんことを乞う。そうすれば民が苦しみから立ち直り、救われることになるだろう。
- f 実情を書き連ねて告発する。異姓養子を許し、老人自身の余生を全うさせていただきたい。そうすれば生きる道は失われないだろう。匍匐して上告する。

《訳注》

① 原文の「結髪」には【語彙解】にあげたような二つの解釈がある。ここでは『近代』に従う。

【原文】

【9-6】**錢債田土** 懇天訊究詳的，母陷死填溝壑，陰德弥布，望光上告，○乞查稅糧，灼見虛實，庶母貽累，免致欺占，○**山場**，告乞委差臨勘，着令遷移，改正杜患，○乞煩研究，祖宗骸骨，存無下落，庶免傷殘命脈，生亡被陷，○告乞檢勘，照分均判，改正還業，壘起革禁，庶死安生，○**古路**，告乞疏通，責令改正，照舊衆便，實為民益，○**陂塘**，告乞，疏通水利，蘇民因陋，庶無倚強侵占，亦無霸截，○告乞垂救，斷還田業，庶免蕩散，流離良善，安生得所，○奔懇，革除頑弊，免遭奔陷，庶遂更生，民得存濟，○**[走+甫][走+余]**奔告，匡扶小民，免被鈎距，刺骨吸髓，痛情上告。○告乞，憐憫下民，斧斷杜患，庶免私債騙害，富食貧肉，○伏乞准理，如黑光天，救度小民，日曬冰■，禁革豪惡，竹節放債，判還田屋，一家安身，追還兒女，免致坑陷，○伏■追還，救貧削■，革惡除奸，照原銀本，■■算

還，

*『萬書萃寶』錢債田產類

- a 懇天訊究詳的，免致死填溝壑，陰德弥布，望光上告，
- c 山場，告乞，委差臨勘，着令迁移，改正杜患，
- f 古路，告乞疏通，責令改正，照舊衆便，實為民益，
- g 坡塘，告乞，疏通水利，蘇民困阨，庶無倚強霸截，不致侵占，
- h 田產，告乞垂怜斧斷，田業還貧，庶免流離，良善安生，
- k 私債，乞恩杜患，免私債騙害，富食貧肉，
- m 伏乞追還，救貧殄惡，安民哀告，
- n 匍匐奔告，匡救煢獨，免■■■，哭告，

*『五車拔錦』錢債田產類

- a 懇天訊究詳的，母陷死填溝壑，明德弥布，望光上告，
- b 乞查稅糧，灼見虛實，庶母貽累，免致欺占，
- c 山場，告乞，委差臨勘，着令迁移，改正杜患，
- d 乞煩研究，祖宗骸骨，存无下落，庶免傷殘命脈，生亡被陷，
- e 告乞檢勘，照分均判，改正還業，壘起革禁，庶死安生，
- f 古路，告乞疏通，責令改正，照舊衆便，實為民益，
- g 坡塘，告乞，疏通水利，蘇民因阨，庶無倚強侵占，亦无霸截，
- h 告乞垂救，斷還田業，庶免蕩散，流離良善，民生得所，
- i 奔懇，革除頑弊，免遭弃陷，庶遂更生，民得存濟，

*『學海群玉』錢債田產類

- a 懇天訊究詳的，母陷死填溝壑，陰德弥布，望光上告，
- b 乞查稅糧，灼見虛實，庶毋貽累，免致欺占，
- c 山場，告乞，委差臨勘，着令遷移，改正杜患，
- d 乞煩研究，祖宗骸骨，存無下落，庶免傷殘命脈，生亡被陷，
- e 告乞檢勘，照分均判，改正還業，壘起革禁，庶死安生，
- f 古路，告乞疏通，責令改正，照舊衆便，實為民益，
- g 坡塘，告乞，疏通水利，蘇民困阨，庶無倚強霸占，亦無霸截，
- h 告乞垂救，斷還田業，庶免蕩散，流離良善，民生得所，
- i 奔懇，革除頑弊，免遭奔陷，庶遂更生，民得存濟，
- j [走+甫][走+余]奔告，匡扶小民，免被鉤距，剌骨吸髓，痛情上告。
- k 告乞，憐憫下民，斧斷杜患，庶免私債騙害，富食貧肉，
- l 伏乞准理，如黑光天，救度小民，日曬冰消，禁革豪惡，竹節放債，判還田屋，一家安身，追還兒女，
免致坑陷，
- m 伏乞追還，救貧削富，革惡除奸，照原銀本，依律算還，

*『萬書萃錦』錢債田土類

- a 懇天訊詳實的，免致死填溝壑，陰德弥布，望光上告，
- c 山場，告乞，委差臨勘，着令遷移，改正杜患，
- f 古路，告乞疏通，責令改正，照舊衆便，實為民益，

g 坡塘，告乞，疏通水利，蘇民困阨，庶無倚強霸絕，不致侵占，

h 田產，告乞垂怜斧斷，田業還民，庶免流離，良善安生，

k 私債，乞恩杜患，免私債騙害，富食貧肉，

m 伏乞追還，救貧殄惡，安民哀告，

n 匍匐奔告，匡救羣獨，免罹鉤距，哭告，

*『全書備考』錢債田產類

m 伏乞追還，救貧殄惡，上告，

n 匍匐奔告，匡救羣獨，免罹鉤距，哭告，

*『積玉全書』錢債田土類

a 懇天訊詳實的，毋陷死填溝壑，陰德弥布，望光上告，

c 山場，告乞，委差臨勘，着令遷移，改正杜患，

d 乞煩研究，祖宗骸骨，存無下落，庶免傷殘命脈，生亡被陷，

f 古路，告乞疏通，責令改正，照舊衆便，實為民益，

g 坡塘，告乞，疏通水利，蘇民困阨，庶無倚強霸絕，亦無霸截，

h 田產，告乞垂怜斧斷，田業還民，庶免流離，良善安生，

i 奔懇，革除頑弊，免遭奔陷，庶遂更生，民得存濟，

j [走+甫][走+余]奔告，匡扶小民，免被鉤距，刺骨吸髓，痛情上告。

k 私債，乞恩杜患，免私債騙害，富食貧肉，

m 伏乞追還，救貧殄惡，安民哀告，

n 匍匐奔告，匡救羣獨，免罹鉤距，哭告。

【復元】

- a 懇天訊究詳的，免致死填溝壑，陰德彌布，望光上告，
- b 乞查稅糧，灼見虛實，庶毋貽累，免致欺占，
- c 山場^①，告乞，委差^②臨勘，着令遷移，改正杜患，
- d 乞煩研究，祖宗骸骨，存無下落^③，庶免傷殘命脈，生亡被陷，
- e 告乞檢勘，照分均判，改正還業，壘起革禁，庶死安生，
- f 古路，告乞疏通，責令改正，照舊眾便，實為民益，
- g 坡塘，告乞，疏通水利，蘇民困阨，庶無倚強霸截，不致侵占^④，
- h 田產，告乞垂救，斷還田業，庶免蕩散，流離良善，民生得所，
- i 奔懇，革除頑弊，免遭阱陷，庶遂更生，民得存濟，
- j 告乞，憐憫下民，斧斷杜患，庶免私債騙害，富食貧肉，
- k [走+甫][走+余]^⑤奔告，匡扶小民，免被鉤距^⑥，刻骨吸髓，痛情上告。
- l 伏乞准理，如黑光天^⑦，救度小民，日曬冰消，禁革豪惡，竹節放債，判還田屋，一家安身，追還兒女，免致坑陷，
- m 伏乞追還，救貧削富，革惡除奸，照原銀本，依律算還，
- n 匍匐奔告，匡救瑩獨，免罹鉤距，哭告，

【語彙解】

- ① 「山場」：『国字解』190「山はやま、場はかや野なり」。『大明律』戸律二「盜賣田宅」の規定中に用いられている用語である。hの「田産」も同規定にある。
- ② 「委差」：『中日』「命じて調査させる」
- ③ 「下落」：『石山』「行先、行衛（ユクヘ）。『近代』「^③去処、坐落。^④踪迹、去向」。
- ④ 「侵占」：『国字解』189「一尺二尺づつせぶりとるなり」、553「へづりとる意なり」、600「侵は皆人

のもち分をおかすなり。占はわがものとするなり」。『中日』「不法に占拠する」。

⑤「**走+甫**」**走+余**」：『石山』「**走+余**」**走+甫**」＝「匍匐（ハラバイ）スル」

⑥「**鉤距**」：『石山』「舟戦の具」。『東川』「犯罪者ヲ摘発スルコトノ妙ヲ得タルノ義。**鉤ニ距**アリテ魚ノ之ヲ吞ムハ易ク吐クハ難キガ如ク人ヲシテ其中ニ入レテ出ヅルコト能ハザラシムルノ謂ナリ」。『中日』「つりこんで事情を探る。じょうずに聞き出す」

⑦「**光天**」：『石山』「光明天下ニ満ツルノ意」

【現代語訳】

- a お上に詳細に取り調べて追究することをお願いする。そうすれば死体が溝を埋めるようなことはなく、陰徳はますます積み重ねられるだろう。光を求めて上告する。
- b 税糧を納めている者を調査し、虚実を明らかにしていただきたい。そうすればしこりを残すことなく、詐りによって占拠されることがなくなるだろう。
- c **山場** 告発してお願いする。官吏を派遣して実地調査させ、（何かを？）移動させて現状を回復し、もめ事が起きないようにしてほしい。
- d 面倒だが調査していただきたい。祖先の遺骨の行方はどこかを。そうすれば命脈を傷つけられることなく、（悪人に）陥れられることもなく生活できるだろう。
- e 告発して取り調べられんことを願う。均分の判決に照らし、改めて土地を返還させてほしい。禁令を繰り返し出せば死ぬまで安心できる。
- f **古道** 告発して通行できるようお願いする。責任を持ってもと通りにし、人々の便を考えてもらえば、まことに民の利益となる。
- g **坡塘** 告発してお願いする。水利の便を図り、民の困苦を救ってほしい。そうすれば強さを恃んで水利を独占し、不法占拠することはなくなるだろう。
- h **田産** 告発して救いの手を差しのべられ、土地を返還するよう処断してほしい。そうすれば離散を免れ、流浪している良民も生きるすべを得られるだろう。
- i 切にお願いする。積弊を取り除き、わなにはまることがないようにしてほしい。そうすれば民はさらに生き続けることができるだろう。
- j 告発してお願いする。下々を憐れみ、処断してもめ事を防いでほしい。そうすればごまかして借金させ、富者が貧者の肉を食らうことがなくなるだろう。
- k 匍匐してお願いする。小民を救ってほしい。罠に引きずりこまれて抜け出せなくなり、骨の髄までしゃぶられることがなくなるだろう。痛切に上告する。
- l 伏して天理に従うことをお願いする。暗闇に光を当てるごとく、小民を救済し、日が当たって氷がとけるようにしてほしい。豪民が次々と借金させるのを取り締まり、土地・家屋を返還するよう判決を下していただければ、一家は安泰である。さらに子女を返してほしい。そうすれば（被害に）陥ることがなくなるだろう。
- m 伏して返還をお願いする。貧者を救って富者から削り、悪党を除いてほしい。律の規定

によって法定の銀の額を返納させてほしい。

- n 匍匐してお願いする。寄る辺ない独り者を救い、悪党に引っ掛けられないようにしていただきたい。泣いて上告する。

【原文】

【9-7】財本 告乞准提，照帳追還，超拔異蟻，早得還鄉，庶使客路疏通，深為恩便，■

告，○懇天，怜准行提斧断，追還父娘資本，超孤還籍，免致經紀，一干衆惡，拴通坐騙，
○

*『萬書萃寶』財本類

- a 告乞准提，照帳追還，超拔異蟻，早得還鄉，哭告，
b 懇天，准提斧断資本，超孤還籍，庶客路疏通，深為恩便，哭告，
c 奸刁行偽難容，人面賊心，乞賜禁革，救警地方，

*『五車拔錦』財本類

- a 告乞准提，照帳追還，超拔異蟻，早得還鄉，庶使客路疏通，深為恩便，上告。
b 懇天，怜准行提斧断，追還父娘財本，超孤還籍，免致經紀，一千衆惡，拴通坐騙，
c 奸刁行偽難容，人面賊心，伏乞施行禁革，救警地方，

*『萬書淵海』財本類

- a 告乞准提，照帳追還，超拔異蟻，早得還鄉，哭告，
b 懇天，准提斧断資本，超孤還籍，庶客路疏通，深為恩便，哭告，
c 奸刁行偽難容，人面賊心，乞賜禁革，救警地方，

*『五車萬寶全書』財本類

- a 告乞准提，照帳追還，超拔異蟻，早得還鄉，哭告，
b 懇天，准提斧断資本，超孤還籍，庶客路疏通，深為恩便，哭告，

- c 奸刁行偽難容，人面賊心，乞賜禁革，救警地方，
- d 超拔枯骨，免作異鄉之鬼，矜憐殘喘，庶為別井之魂，迫告，
- e 程途跋涉，七百水徑，滄泱近千，魄財相倚，止圖微利，

*『學海群玉』財本類

- a 告乞准提，照帳追還，超拔異蟻（蜎？），早得還鄉，庶使客路疏通，深為恩便，上告。
- b 懇天，怜准行提斧斷，追還父娘財本，超孤還籍，免致經紀，一千衆惡，拴通坐騙，
- c 奸刁行偽難容，人面賊心，伏乞施行禁革，救警地方，
- f 偽用銀騙，皆緣銀匠，致行倣效，行使害人，被坑叫買賣艱難，假銀拐騙，伏乞彰施，枷號示衆，

*『萬書萃錦』財本類

- a 告乞准提，照帳追還，超拔異蟻，早得還鄉，哭告，
- b 懇天，准提斧斷資本，超孤還籍，庶客路疏通，深為恩便，哭告，
- c 奸刁行偽難容，人面賊心，乞賜禁革，救警地方，

*『全書備考』財本類

- a 告乞准提，照帳追還，超拔異蟻，早得還鄉，哭告，
- b 懇天，准提筆斷資本，超孤還籍，庶客路流通，深為恩便，哭告，
- c 奸刁行偽難容，人面賊心，乞賜禁革，救警地方，

*『積玉全書』財本類

- a 告乞准提，照帳追還，超拔異蟻，早得還鄉，哭告，
- b 懇天，准提斧斷資本，超孤還俗，庶客路疏通，深為恩便，哭告，
- c 奸刁行偽難容，人面賊心，乞賜禁革，救警地方，上告，

【復元】

- a 告乞准提，照帳①追還，超拔異蟻，早得還鄉，庶使客路疏通，深為恩便，上告。
- b 懇天，怜准行提斧斷，追還父娘財本，超②孤還籍，免致經紀一干③，眾惡拴通坐騙，
- c 奸刁行偽難容，人面賊心，伏乞施行禁革④，救警地方，上告，
- d 超拔枯骨，免作異鄉之鬼，矜憐殘喘，庶為別井之魂，迫告，
- e 程途跋涉七百，水徑湍決近千，魄財相倚，止圖微利，
- f 偽用銀騙，皆緣銀匠，致行倣效，行使害人，被坑叫買賣艱難，假銀拐騙，伏乞彰施，枷號⑤示眾，

【語彙解】

- ① 「帳」：『近代』「①登記財物的簿冊。…③所欠的債務。…」
- ② 「超」：『中日』「超度」の意があるとし、それを「済度する」と解する。
- ③ 「一干」：『近代』「一衆。指有關係的一伙」。
- ④ 「禁革」：『国字解』180「革はやむることなり」
- ⑤ 「枷號」：『国字解』587「充軍・爲民の罪の内にてても又重きをば、くびかせを打て、其罪名をかきたててさらす」

【現代語訳】

- a 告発して召喚・追究する方針を提出されんことを願います。不足分に照らして返還させ、よそ者を除き去り、すみやかに故郷に帰ることができるように。そうすれば商人の往来もスムーズになり、たいへん恩恵を感じるだろう。上告する。
- b お上にお願います。民を憐れんで召喚・追究し断乎たる処置を下されんことを。父母の資本を返還し、孤独から済度し、もとの籍に戻されるように。そうすれば經紀一味がグルになって騙すという悪事から逃れられるだろう。
- c 悪人が欺瞞をおこなうことは許し難い。人間の顔を持ちながら心は悪党である。伏してこやつらを取り締まり、村方に警鐘を鳴らし、民を救われんことを願う。上告する。
- d 遺骨を収集し、異郷の霊となることがないように。瀕死のさまを憐れみ、他村の魂となることがないように。切迫して上告する。
- e 旅程といえば、陸路では七百もの（山野を）越え、水路では千に近い（河川湖沼を）渡った。魂と財貨が寄り添い、わずかばかりの利益を求めてきたのだ。
- f 偽銀で騙したのはすべて銀匠の仕業である。それを模倣して偽銀を使い人を害した。（被害者は）陥れられ売買を困難にさせられ、偽銀で物資を騙し取られたのである。伏してお

願いする。法を明らかにして処断し、首枷をして晒し者にされんことを。

【原文】

【9-8】人命 告乞准提，超生憐死，陰鷲萬代，上告，○告乞，檢驗傷証，明正典刑，生死
御恩，九泉感戴，○懇告天臺，乞委清正廉明官員，檢驗明白，庶使律法昭彰，不致冤
蔽覆盆，投光上告，

*『萬書萃寶』人命類

- a 乞賜准提，超生怜死，陰鷲萬代，上告，
- b 叩天，檢驗傷証，明正典刑，存歿[口+御恩]，哭告，
- c 哭懇天臺判，委清正廉明官員，檢驗屍傷，庶律法昭彰，免冤蔽覆盆，投光上告，

*『五車拔錦』人命類

- a 告乞准提，超生憐死，陰鷲萬代，上告，
- b 告乞，檢驗傷証，明正典刑，生死御（口→予）恩，九泉感戴，
- c 懇若天臺，乞委清正廉明官員，檢驗明白，庶使律法昭彰，不致冤蔽覆盆，投光上告，

*『萬書淵海』人命類

- a 乞賜准提，超生怜死，陰鷲萬代，哀告，
- b 叩天，檢驗傷証，明正典刑，存沒[口+御恩]，哭告，
- c 哭懇天臺判，委親正廉官，檢驗屍傷，庶律法昭彰，免冤蔽覆盆，投光上告，

*『學海群玉』人命類

- a 告乞准提，超生憐死，陰鷲萬代，上告，
- b 告乞青天，驗証，明正典刑，生死御（口→予）恩，九泉感戴，

c 懇告天臺，乞委清正廉能官員，檢驗明白，庶使律法昭彰，不致冤蔽覆盆，投光上告，

*『萬書萃錦』人命類

a 乞賜准提，超生怜死，陰騭萬代，哀告，

b 叩天，檢驗傷証，明正典刑，存歿啣恩，哭告，

c 哭懇天臺判，委親正廉官，檢驗屍傷，庶律法昭彰，免冤蔽覆盆，投光上告，

*『全書備考』人命類

a 乞賜准提，超生憐死，陰騭萬代，上告，

b 叩天，檢驗傷証，明正典刑，存沒啣恩，哀哭上告，

c 哭懇天臺，判委清正廉明官員，檢驗尸傷，庶律法昭彰，庶免冤蔽覆盆，投光上告，

*『積玉全書』人命類

a 乞賜准提，超生怜死，陰德萬代，哀告，

b 叩天，檢驗傷証，明正典刑，存歿[口+金+亍]恩，哭告，

c 哭懇天臺判，委親正廉官，檢驗屍傷，庶律法昭彰，免冤蔽覆盆，投光上告，

【復元】

a 告乞准提，超生憐死，陰騭萬代，上告，

b 告乞，檢驗傷証，明正典刑，生死[口+銜]恩，九泉感戴，哭告，

c 懇告天臺，乞委清正廉明官員，檢驗明白，庶使律法昭彰，不致冤蔽覆盆^①，投^②光上告，

【語彙解】

① 「覆盆」：『近代』「謂沈冤莫白」。『中日』「〔喻〕暗黒。人に知られない裏面」。『中国古典小説用語辞

典』「不白之冤叫『覆盆之冤』」（「不白之冤」＝『中日』「すすぐことのできない無実の罪」）。もし「覆盤」ならば『国字解』711「再遍吟味のことなり」。

② 「投」：『近代』「①朝、向。②依附、投靠。…」。

【現代語訳】

- a 告発して召喚・追究をおこなわれんことを願う。死ぬほどの苦しみを憐れんでお助けを。そうすれば万代までも陰徳が続くだろう。悲しんで上告する。
- b 告発してお上にお問い合わせ。検死して傷痕の証拠を調べ、刑罰を明らかにしてほしい。そうすれば生者も死者も恩を感じ、地の底までも感激し敬意を抱くだろう。
- c 慎んでお上に申し上げる。どうか清廉潔白な官僚に、明瞭な死体の検案をさせてほしい。そうすれば法律を明らかにすることができ、晴らせぬ冤罪を免れるであろう①。光のようなお上に頼り、上告する。

《訳注》

① 【語彙解】にあげた「覆盤」の可能性もあるが、原文通り「覆盆」で解釈した。

【原文】

【9-9】賊情 告乞，嚴令精兵人役，張捕緝拿，以除民害，上告，○告乞准行，緝拿應捕，救民除害，庶地方寧謐，國法昭彰，上告，

*『萬書萃寶』『萬書萃錦』『積玉全書』賊情類

- a 乞賜，嚴差兵快，四路緝拿，以除民害，迫切哭告，
- b 懇恩准究緝拿，救民殄惡，地方寧謐，國法昭彰，上告，
- c 恩憐親勤，民得聊生，上告，

*『五車拔錦』『學海群玉』賊情類

- a 告乞，嚴令精兵人役，張捕緝拿，以除民害，上告，
- b 告乞准行，緝拿應捕，救民除害，庶地方寧謐，國法昭彰，上告，

*『全書備考』賊情類

- c 恩憐親勤，民得聊生，上告，

【復元】

- a 告乞，嚴令精兵人役，張捕緝拿，以除民害，上告，
- a' 乞賜，嚴差兵快，四路緝拿，以除民害，迫切上告，
- b 告乞准行①，緝拿應捕②，救民除害，庶地方寧謐，國法昭彰，上告，
- c 恩憐親勦，民得聊生，上告，

【語彙解】

- ① 「准行」：『国字解』96「行は文書を行するなり、准は准許なり。下司より申立たることを、なるほどこの通りに行へと上司が許容するなり」。『中日』「行くのを（実施するのを）許す」。『雅俗漢語訳解』「発足する」。
- ② 「應捕」：『国字解』241「應捕人とは、とつたりの役人なり」など。

【現代語訳】

- a 告発して願います。兵士と衙役を厳しく指揮し、（盗賊を）見張って逮捕し、民の害を取り除いてほしい。上告する。
- a' 処置を賜らんことを。きっと兵士と衙役を差し向け、各方面で（盗賊を）逮捕し、民の害を取り除いてほしい。切実に上告する。
- b 告発して上申を許可されるようお願いする。應捕人を捕え、民を救い、害を除いてほしい。そうすれば村方は安寧になり、国法は明らかになる。上告する。
- c 天恩によって民を憐れみ、みずから盗賊を掃討してほしい。そうすれば民は安心して暮らすことができる。上告する。

【原文】

【9-10】吏書皂快 懇天，洞揭覆盆，嚴除惡弊，不遭欺枉，投光上告，○奔臺，憐准親提，擒拿剪虎劈弊，不致冤蔽覆盆，庶無欺枉，

*『五車拔錦』（以下の3項目は『五車拔錦』にしか載せられていない）

- a 懇天，洞揭覆盆，嚴除惡弊，不遭欺枉，投光上告，
- b 奔臺，憐准親提，擒拿剪虎劈弊，不致冤蔽覆盆，庶毋欺枉，

【現代語訳】

- a お上をお願いする。人知れぬ裏面をあばき、悪弊をしっかりと取り除き、欺瞞に遇わない

ようにすることを。光のようなお上に頼り、上告する。

- b お上に駆け込み、民を憐れんで召喚・追究されんことを願う。 (悪党を) 逮捕し、虎のような衙役を退治し、弊害を取り去ってほしい。そうすれば人知れぬ冤罪を免れ、欺瞞に遇わなくなるだろう。

【9-11】**告官** 昧死懇天，奮乾用離，大彰國法，以除民害，萬代瞻仰，上告，○冒死懇臺，
代天行戮，剪暴除苛，以蘇民困，投光上告，

＊『五車拔錦』 官員郷宦類

- a 昧死懇天，奮乾用離，大彰國法，以除民害，萬代瞻仰，上告，
b 冒死懇臺，代天行戮，剪暴除苛，以蘇民困，投光上告，
c **郷宦**，懇告青天，勦除強暴，追給田土，産業還貧，庶使良善得生，法無欺枉，陰德萬代，上告，

【現代語訳】

- a 死を恐れずお上に願う。「乾」と「離」の卦によって (?) ①、大いに国法を明らかにし、民の害を除いていただきたい。(そうすれば) 萬代にわたって仰ぎ見るだろう。上告する。
b 必死の覚悟でお上に願う。天に代わって成敗し、暴虐なる者を取り除き、そうして民を苦しみから蘇らせてほしい。光のようなお上に頼り、上告する。
c **郷紳** お上に向かって願う。凶暴なものを取り除き、土地を給与し、財産を貧しい者に返還してほしい。そうすれば良民は生きる道を得られ、法律には欺瞞がなくなり、陰徳は万代まで及ぶだろう。上告する。

《訳注》

- ①原文は「奮乾用離」であるが、意味は未詳。易の八卦として訳文をつけてみた。手元の『新字源』によれば、「乾」は「天の剛健なはたらきにかたどる」、「離」は「従順の徳を守れば万事みな成るさまにかたどる」とする。

【9-12】郷宦、【9-13】地方積年は卷八・下層に「○附結段尾附遺」として収録されており、さきの訳注稿で検討した。

(完)

【語彙解索引】

ア

イ 威力縛人【8-1】 委差【9-6】 為富不仁【8-6】 貽累【8-12】 尹鐸之保障【8-6】 淫
奔【8-4】 蔭灌水利【8-6】

ウ

エ 「衰術之于呂布」【8-3】

オ 毆罵期親【7-2】【9-2】

カ 下石之計【8-5】 下落【9-6】 可好【8-3】 枷號【9-7】 拐騙【6-7】 悔盟另嫁
【6-3】 活活【6-8】 竭【6-6】 完娶【9-3】 完聚【9-5】 「管彥之於王裒」【8-3】
趕逐【9-3】

キ 期親【7-2】 欺隱田糧【8-6】 棄毀器物【8-6】 弓箭傷人【8-8】 居停【8-5】 拒
捕【8-12】 虛出通關硃票【8-6】 拱【6-1】 強娶服婦【8-3】 強占婦女【8-5】 強
梁【7-2】 業經【6-6】 禁革【9-7】

ク

ケ 結髮【9-5】

コ 故失【7-7】 庫人【8-6】 庫秤【8-6】 辜恩【9-3】 僱役【8-6】 光天【9-6】 行
關【9-5】 行提【9-5】 坑陷【6-7】 拘提【9-5】 鉤距【9-6】 拷打【8-1】 婚
書【6-3】

サ 再造【9-5】 妻妾失序【8-3】 採生【8-8】 財禮【6-3】 作主【9-1】 山場【9-6】

シ 私充牙行【8-7】 私勸庵院【8-5】【9-5】 私度僧道【8-5】 私約【8-4】 指東就西
之術【8-5】 師巫邪術【8-5】 車殼灌鉛【6-7】 車擁【8-9】 赦書【8-5】 朱陳之
盟【8-3】 硃鈔【8-6】 硃批收支留難【8-6】 受寄財物【8-7】 收留迷失【8-5】 重
復典賣【8-6】 重複典土【8-6】 「從之于偃，君子所嫌」【8-3】 出作入息【8-6】 淮
行【9-9】 淮提【9-4】 小腹【7-2】 匠人牀頂【8-3】 照票【8-6】 心交【7-7】

秦晉之約【8-3】 侵占【9-6】 親屬相姦【8-4】

ス 水土本源之思【8-3】

セ 生妻死墓【8-3】 青天【9-1】 石礫【6-1】 僉斗庫【8-6】 擅食果瓜【8-6】 錢
神【6-1】

ソ 走獸【6-1】 草偃風從【8-3】 相冒合戸【8-5】 喪服婚姻【8-3】 造意【7-8】 尊
卑婚姻【8-3】

タ 打傷墮胎【7-2】 泰伯季歷【8-5】 大道生財【8-6】 脱漏戸口【8-5】 「男女有別，
授受不親」【8-4】

チ 逐婿嫁女【8-3】 刁蹬【8-6】 帳【9-7】 超【9-7】 超生【9-5】

ツ 追捕罪人【8-12】 通関【8-6】 通聖【6-1】

テ 提問【9-4】 鉄尺【6-8】 典僱妻女【8-3】 典賣田宅【8-6】 田産【8-6】【9-6】

ト 刀碓之腥【8-7】 斗級【8-6】 斗庫【8-6】 斗子【8-6】 投【9-8】 逃避差役【8-5】
盜砍墳樹【8-6】 盜賣田宅【8-6】 搭案【8-10】 同姓婚姻【8-3】 同母異父結配【8-3】

ナ 那移完納【8-6】

ニ 入井之怜【8-5】 忍心害理【8-3】

ヌネノ

ハ 把持行市【8-7】 排年【6-8】 買良為娼【8-4】 白圭之貉道【8-6】 反臀相稽【8-2】
版章【8-6】 盤纏【7-7】

ヒ 批駁【6-8】 非刑拷打【8-1】 微啟受辛【8-5】

フ 風化【6-4】 楸【6-1】 覆盆【9-8】

へ

ホ 保辜【9-2】 [走+甫][走+余]【9-6】 謀殺【7-8】

マミム

メ 明火【8-9】

モヤ

ユ 輸納稅糧【8-6】 有限【6-6】

ヨ 容縱犯姦【8-4】

ラ 螺鍋【6-1】 螺拱【6-1】

リ 罹罪【8-12】 立嫡違法【8-5】 律法【6-5】 「柳下惠實為仁人」【8-3】 留難【8-6】

良賤相毆【8-2】

ルレ

ロ 「魯之於吳，聖人所諱」【8-3】 「魯人不納乎嫠婦」【8-3】

ワ